

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000710	商工振興一般管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
310102	商工振興一般管理事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			福知山市の、商工業振興また産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等を図るための各事業において事業の更なる充実と向上を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市民、課員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山市の、商工業振興また産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等にかかる各事業を行うための事務管理的経費 H 2 7 支出内容 1,100,606円 旅費 141,280円 需用費 429,222円 ( 消耗品費398,916円、印刷製本費17,216円、光熱水費13,090円 ) 役務費 515,104円 ( 通信運搬費213,785円、広告料10,800円、手数料216,000円、筆耕翻訳料8,211円、保険料66,308円 ) 負担金補助及び交付金 15,000円 ( 負担金15,000円 )							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	役務費	千円	629	516	416	452
		需用費	千円	248	430	281	168
		旅費	千円	157	142	179	0
		負担金補助及び交付金	千円	15	15	15	15
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	61	0	0	213
	小計	千円	1,110	1,103	891	848	
	B	人件費	千円	10,320	10,160	13,700	12,754
	総事業費(A+B)	千円	11,430	11,263	14,591	13,602	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	11,430	11,263	14,591	13,602	

# 計画事業評価表

計画事業		000710 商工振興一般管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	経済講演会開催	目標	回	2	1	1	1
		実績			1	1	1
		単位コスト			1103.000	891.000	848.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
経済講演会参加者数	目標	人	300	150	150	150	
	実績			173	205	150	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		商工振興課における、商工業振興並びに産業の発展、雇用促進や中心市街地活性化等を図るための各事業の円滑な推進と、基礎となる事業であるため。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		商工振興課における、事務管理的経費として、各事業の円滑な推進に寄与している。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事務管理的経費として、一括管理ができることで、商工振興課における各事業の事務処理を円滑に効率よく行うことができている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 継続して事務管理的経費を一括管理し、商工振興課内の事務処理を円滑に行うようにする。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000727	中心市街地活性化に係る事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
310213	中心市街地活性化に係る事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者： 福知山商工会議所ほか )							
補助金			( 補助先： )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			中心市街地活性化基本計画の着実な進行管理及び国への報告や第2期計画の認定に向け国や関係機関との調整を行う。 また、近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会への参加を通じて、他地域情報収集や実践的な事業ノウハウを学ぶことで、より効果的な賑わいづくりが可能となる。							
対象 (誰・何を対象に)										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画の推進に係る国等関係機関との調整、基本計画の変更認定に係る内閣府協議等</li> <li>第2期計画の認定に係る国等関係機関との調整及び資料作成等</li> <li>近畿管内を中心としたまちづくり会社や活性化協議会など14市3団体47組織が加盟するネットワーク会議である近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会に参加し、ソフト事業などの実践的な実施手法などの情報交換に参加</li> <li>通行量調査の実施</li> </ul>							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	604	665	376	508
		旅費	千円	294	161	168	0
		需用費	千円	765	9	0	44
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	248	122
	小計	千円	1,663	835	792	674	
	B	人件費	千円	2,240	4,640	3,200	3,188
	総事業費(A+B)	千円	3,903	5,475	3,992	3,862	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	3,903	5,475	3,992	3,862	

# 計画事業評価表

計画事業		000727 中心市街地活性化に係る事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	近畿中心市街地活性化研究会への参加	目標	延べ人	6	6	6	4
		実績			9	7	7
		単位コスト			92.778	113.143	96.286
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
通行量調査	目標	人	4,200	4,200	4,200	4,200	
	実績			3,871	3,422	3,614	
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		中心市街地活性化基本計画の着実な進行管理及び国への報告を行うにあたり、確実な指標を把握するため、交通量調査は必要である。また、近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会への参加を通じて、他地域情報収集や実践的な事業ノウハウを学ぶことで、より効果的な賑わいづくりが可能となる。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		通行量調査により、基本計画指標の進捗状況を把握し、また、近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会で地域情報収集、実践的な事業ノウハウを学ぶことは、基本計画の各事業を着実に進めることにつながるため、有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会への参加を通じて、他地域情報収集や実践的な事業ノウハウを効率的に学ぶことができ、より効果的な賑わいづくりが可能となる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成28年3月15日に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画の2期計画を平成33年3月までの5年間の短期間で事業を実施する必要があり、その事業の進行管理や国への報告。また、他地域で実施されている事業を直接情報収集の出来る近畿市中心市街地活性化ネットワーク研究会への参加は、今後の中心市街地の賑わい創出には必要不可欠であり、実効性の高いものとするためには、今後も参加する必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小		x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

計画事業	000728	中心市街地活性化協議会運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成21年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
310222	中心市街地活性化協議会運営事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: )							
補助金			( 補助先: 福知山市中心市街地活性化協議会 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			平成18年6月に改正された中心市街地活性化法に基づく法定協議会であり、平成28年3月15日に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画第2期計画の目標数値の達成のため、当協議会を定期的開催し、構成員の持つ知識や情報、活用資源を積極的に有効活用して、具体的事業に対して助言、支援していくことにより、中心市街地の活性化をより実現性の高いものにする。							
対象 (誰・何を対象に)			福知山市中心市街地活性化協議会							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山市中心市街地活性化基本計画の進行管理及び更新等の活動に対する助成金 事務局：福知山商工会議所 【H27事業内容】 補助金100千円 ：福知山市中心市街地活性化協議会への運営補助							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	負担金補助及び交付金	千円	100	100	100	100
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
小計	千円	100	100	100	100	
B	人件費	千円	1,600	1,360	2,700	1,028
総事業費(A+B)		千円	1,700	1,460	2,800	1,128
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財 コメント						
一般財源	千円	1,700	1,460	2,800	1,128	

# 計画事業評価表

計画事業		000728 中心市街地活性化協議会運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	中心市街地活性化協議会等の開催	目標	回/年	13	13	13	13
		実績			11	11	13
		単位コスト		円		9.091	9.091
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
基本計画の策定・更新	目標		基本計画の更新 年1回	2期計画の策定	基本計画の更新 年1回	基本計画の更新 年1回	
	実績			2期計画認定	基本計画の更新 年1回	基本計画の更新 年1回	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山市中心市街地活性化協議会は、幅広い分野からの委員の参画を得て、基本計画に掲げる事業を円滑に推進していく法定協議会であり、必要不可欠な組織である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		認定計画の進捗状況等について議論を行い、実効性の高い計画の具体化を図る上で、その活動に対し助成を行うことは非常に有効なものとなっている。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		福知山市中心市街地活性化協議会としては、全体会及び定例会並びに4つのプロジェクト会議等を定期的に開催し、参加メンバー各々の立場での役割分担で効率性のある運営を行っている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成28年3月15日に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画の2期計画を平成33年3月までの5年間の短期間で事業を実施する必要があり、その事業の推進役を担っている福知山市中心市街地活性化協議会の役割は大変大きく、今後の活動をより実効性の高いものとするためには、現状を維持しながらその活動に対し助成を行うことは有効である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000729	中心市街地活性化まちづくりプロジェクト応援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	42	商工業の振興			担当課	商工振興課				
基本方針	01	商業を活性化する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
310239	中心市街地活性化まちづくりプロジェクト		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 福知山市中心市街地活性化協議会 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			本市の中心市街地の活性化を図るために策定され、平成28年3月15日に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画第2期計画を実質的に効果のあるものとして実行していく実働部隊となる市民や商工団体等による4つのプロジェクト会議に対してその活動の支援を行い、各プロジェクトを推進する。							
対 象 (誰・何を対象に)			福知山市中心市街地活性化協議会							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山市中心市街地活性化協議会における4つのプロジェクト会議の様々な事業の企画・運営・実施活動を支援する。 城周辺賑わい創出事業P J 町並み・町家活用P J まちなかおもてなしP J まちなか居住P J							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	200	0	0	0
	小計	千円	200	0	0	0
B	人件費	千円	400	160	1,200	2,057
総事業費(A+B)		千円	600	160	1,200	2,057
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
一般財源		千円	600	160	1,200	2,057

# 計画事業評価表

計画事業		000729 中心市街地活性化まちづくりプロジェクト応援事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	プロジェクト会議等の開催	目標	回	4	4	4	4	
		実績			0	0	3	
		単位コスト	円				0.000	
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		企画実施件数	目標	件	2	4	4	4
			実績			0	0	0
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山市中心市街地活性化協議会に4つのプロジェクト会議を組織し、各プロジェクト会議に市民・商工団体等が参画することにより、自らが計画し、行動できる組織体制を構築し、その重要な実働部隊の活動を支援することは、中心市街地の活性化を図るうえで必要である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本事業を行うことにより、福知山城周辺の活性化、まちなかへの回遊戦略、まちなか居住の推進など、中心市街地活性化への課題事項についてそれぞれ特化したプロジェクトで検討することが可能となり、中心市街地活性化への取り組みを具現化し、推進することができる。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		民間まちづくり活動支援事業の国庫補助を活用し、中心市街地のそれぞれのプロジェクトの課題に応じた活動を支援し、計画に沿った事業実施を推進するため、各プロジェクトごとに計画コーディネートを実施する。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x				維持	x			x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成28年3月15日に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画の2期計画の各種事業を推進するための実働部隊として、民間の活力を十分に活かせる組織体を構築していくことができ、今後も各プロジェクトの推進役として計画をコーディネートしていくことが必要であり、事業の支援が不可欠である。			
成果の方向性	拡充		x																																			
	維持		x			x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000730	まちなか商店街おもてなし事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310228	まちなか商店街おもてなし事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 福知山商工会議所 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			少子高齢化が進み、地域コミュニティが失われつつある中心市街地の現状にあって、地域コミュニティの確保が喫緊の課題となっている。地域の特色を打ち出した福知山らしい「おもてなし」事業を支援することで、まちなか商店街に人を呼び込むとともに事業を通じて地域コミュニティの醸成や、中心市街地の活性化に繋げる。							
対象 (誰・何を対象に)			福知山商工会議所、中心市街地商店街、まちづくりグループ等							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山商工会議所が中心市街地の賑わいづくり、地域のコミュニティ醸成のために、商店街等と連携して企画実施する独自の特色を打ち出した「おもてなし」事業に対して補助金を交付するもの。 平成27年度は、駅正面通商店街の調査事業に対し補助を行った。							
関連事業 (同一目的事業等)			商店街振興事業(商店街等イベント事業補助金)							

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		A	負担金補助及び交付金	千円	150	150	0	200
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			災害補償費	千円	0	0	0	0
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
			賃金	千円	0	0	0	0
			報償費	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			小計	千円	150	150	0	200
			B	人件費	千円	400	160	600
		総事業費(A+B)	千円	550	310	600	817	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	0	0	0	0	
		国・府支出金コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	0	0	0	0	
		地方債・その他特財コメント						
		一般財源	千円	550	310	600	817	

# 計画事業評価表

計画事業		000730 まちなか商店街おもてなし事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	実施事業数	目標	事業	3	3	3	5
		実績		1	0	4	
		単位コスト		円	150.000		50.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	4,200	4,200	4,200	4,200
		実績		3,871	3,422	3,614	
		単位コスト					
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山市中心市街地活性化基本計画の事業に位置づけられており、少子高齢化が進む中心市街地において、地域コミュニティの確保は喫緊の課題であり、地域コミュニティの醸成を目指すため必要性は高い。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		中心市街地及び商店街の情報発信効果を高めるとともに、地域住民のみならず他地域からも人を呼び込み交流を促進する「おもてなし」意識の醸成につながっている。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		福知山商工会議所と商店街等が連携することにより、個々の商店街独自では実施が難しかった広域(複数商店街や中心市街地全域)に対して、より効率的に事業展開を図ることができる。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td>○</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x				維持	x		○	x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 一過性の事業で終ることなく、事業効果が継続していくためにも、戦略性・計画性の高い事業を実施していく必要がある。また、実施主体の福知山商工会議所が各商店街やまちづくりグループと、より緊密で良好な連携を取りながら実施していける体制づくりも必要である。			
成果の方向性	拡充		x																																			
	維持		x		○	x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000733 福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）管理事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	42	商工業の振興			担当課	商工振興課				
基本方針	01	商業を活性化する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
310202	福知山城憩いの広場管理事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：西日本エスエスシー、(社)福知山シルバー人）									
	補助金（補助先：福知山ガーデニングサークルゆらら）									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	平成24年4月24日にオープンした市民憩いの広場と7つのショップ群からなる福知山城憩いの広場『Yuran o-garden』を、出店者協議会や市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら中心市街地への回遊の拠点として、また、街のシンボルとなるお洒落な“四季の彩りに満ちた和み空間”として維持管理することにより、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、関連事業との連携により、まちなかへ誘導していくことで、まちなかの活性化につなげる。									
対象 (誰・何を対象に)	市民・来街者・福知山ガーデニングサークルゆらら									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	「四季の彩りに満ちた和み空間」をテーマにゆったりとしたより良い時間を過ごせる魅力的な空間にし、中心市街地への回遊の拠点としての機能を発揮させるため、市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら、良好な維持管理を実施した。									
関連事業 (同一目的事業等)										
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度				
		需用費	千円	1,780	1,942	1,022	1,803			
		委託料	千円	2,109	1,941	2,458	1,677			
		負担金補助及び交付金	千円	500	600	500	500			
		役務費	千円	312	225	153	234			
		報酬	千円	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	550	0	3,242	1,289			
		小計	千円	5,251	4,708	7,375	5,503			
		B 人件費	千円	5,680	4,480	4,500	7,508			
総事業費(A+B)	千円	10,931	9,188	11,875	13,011					
財源内訳	国支出金	千円	2,625	0	0	600				
	府支出金	千円	0	2,269	3,304	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	55	57	755	1,913				
	地方債・その他特財コメント									
一般財源	千円	8,251	6,862	7,816	10,498					

# 計画事業評価表

計画事業		000733 福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）管理事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		ガーデニングサークル活動回数	回	14	16	19	19	19	19
			14	18	21				
	単位コスト		336.286	409.722	262.048				
出店者協議会への参加回数	回	11	11	11	11				
			8	4	8				
	単位コスト		588.500	1843.750	687.875				
	目標								
	実績								
	単位コスト								
成果指標名		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
来場者数（レジカウント×2.5）	人	230,000	230,000	240,000	240,000				
			182,885	33,608	168,000				
	目標								
	実績								
	目標								
	実績								

事項		担当課評価		
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		中心市街地への回遊の拠点として、市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら、管理することで、市民や来街者が憩える場を提供できるとともに、関連事業との連携により、まちなかへ誘導していくことで、中心市街地の活性化と福知山の魅力発信につながる必要不可欠な事業である。		
<b>事業の有効性</b> <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		平成23年3月25日に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画のファーストプロジェクトとしてオープンした施設であり、また、ガーデニングサークルと連携し、市民や来街者が憩える場を提供することができる。中心市街地への回遊の拠点として、関連事業との連携により、まちなかへ誘導していくことで、まちなかの活性化につながるため、有効な事業である。		
<b>事業の効率性</b> <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		市民参加のガーデニングサークルによるガーデンの維持管理、出店者協議会による維持管理により、効率的に事業が実施でき、街のシンボルとなるお洒落な“四季の彩に満ちた和み空間”としてより多くの市民や来街者に憩える場が提供できる。		
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価</b> （今後の事業の方向性、課題等）		
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持（現在の事業規模により継続実施） 平成23年3月25日に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画のファーストプロジェクト「福知山城周辺賑わい創出施設」として整備され、オープン後は市内外から多くの来場者を迎えており、今後の中心市街地活性化につながる重要な施設である。また、市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、官民協働という理想的な形で維持管理が図られている。中心市街地ガーデニング促進事業の一部を引継ぎ、更に良好な四季の彩と和みの空間づくりに努め市民や来街者が憩える場を提供することで、まちなかの活性化につながるものである。		
成果の方向性 拡充 × 維持 ○ 縮小 × 休廃止 ×	皆減	縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000734	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成21年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し（非公開）			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310211	中心市街地空き家・空店舗等ストックバンク		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者： )							
補助金			( 補助先：ストックバンク登録者で条件に該当する者 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなか居住の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る必要があるなかで、中心市街地の空き家、空き店舗等を有効活用していく。							
対象 (誰・何を対象に)			中心市街地での店舗開店希望者及び居住希望者、中心市街地商店街							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			平成22年度に制定した「空き店舗等ストックバンク制度」について、平成23年度に「空き家」についても登録できるよう制度を拡充した。また、福知山市ホームページに中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を掲載、情報発信を行うとともに、平成26年度からまちなみ環境整備事業の更なる事業促進を図るため、対象となる重点区域に特化して、仲介手数料補助を新設して不動産の流動化を促し有効活用を推進する。							
関連事業 (同一目的事業等)			まちなか居住応援事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	3,535	3,531	0	0
		負担金補助及び交付金	千円	4,700	179	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	8,235	3,710	0	0	
	B	人件費	千円	4,000	1,360	1,700	1,234
	総事業費(A+B)	千円	12,235	5,070	1,700	1,234	
財源内訳	国支出金	千円	4,117	89	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	8,118	4,981	1,700	1,234	

# 計画事業評価表

計画事業		000734 中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	登録物件数	目標	件	10	6	5	5
		実績			12	6	5
		単位コスト	円		309.167	0.000	0.000
	利用登録者数	目標	人	10	5	5	5
		実績			22	9	10
		単位コスト			168.636	0.000	0.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
空き店舗等の成約数	目標	件	5	5	3	3	
	実績			3	4	2	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		未利用の住宅や空き地等の流通を促進し、中心市街地における人口増加と商業の活性化を図る上でも必要性は高い。	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		未利用の住宅や空き地等の流通を促進することで、まちなかへの居住の増加による行政コストの削減や、新規開業を促す材料として、中心市街地の活性化を図る点で有効である	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		登録していない空き店舗、空き家は多く、登録物件を増やすことによって事業の有効性を高めるため、商店街、自治会や地域住民とのさらなる連携を図り、持ち主に協力してもらえる体制を構築する必要がある。	
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)</b> 平成27年度は福知山まちづくり㈱に登録運営業務の一部を委託し、空き家巡りツアーやDIY講習などのイベントの実施やストックバンクのブログを開設により色々な情報を発信することで、中心市街地の空き家、空き店舗の利活用を促進し、新規出店やまちなかへの居住につなげることができた。 課題としては、物件及び利用希望者のさらなる発掘と登録、ストックバンク登録者・利用希望者双方にとって信頼が保てるマッチングが必要となっている。 そのため、28年度からは地元の宅建事業者との連携を図り、登録者・利用希望者双方にとって信頼が保てる制度とするとともに、空き家、空き店舗に利用を促進させ新たになぎわい拠点の創出や商業の活性化を図る。	
成果の方向性	① 拡充 × ○ ② 維持 × × ③ 縮小 × × × ④ 休廃止 × × ×		
	⑤ 皆減 ⑥ 縮小 ⑦ 維持 ⑧ 拡大	H28年度より『空き店舗活用チャレンジ事業』を本事業に統合	
<b>コスト投入の方向性</b>			

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000735	空き店舗活用チャレンジ事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部		
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課		
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)		
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
310207	空き店舗活用チャレンジ事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: 空き店舗を活用して新店舗の開業等を行う人)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	空き店舗が増え、空洞化が著しい中心市街地において、店舗数及び居住者数の減少を防ぐと同時に、地域住民を商店街に呼び戻すことが喫緊の課題となっており、生活に密着した店舗、魅力的な店舗の開店や、誰もが生活しやすい居住環境が求められている。空き店舗を活用した新店舗の開業を推進し、店舗数の減少を防ぎ、地域商業の振興を図るとともに、空き店舗を活用した高齢者等の交流、子育て支援、歴史・文化の継承発信等の施設開設を促し、地域住民の交流の場を設けることで、まちなかの賑わい創出及びまちなか居住の支援と充実を図る。								
対象 (誰・何を対象に)	空き店舗を活用して新店舗の開業等を行う人								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	<p>施設開業のために必要な経費(改修費、備品購入費、家賃)に対して、福知山市空き店舗等対策事業補助金交付要領に基づき、補助金を交付する。対象となる空き店舗等は、空き家・空き店舗等ストックバンク制度に登録された物件とする。</p> <p>(1) 福知山まちづくり株式会社による新店舗開業事業・・・新店舗を開設する事業への補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修補助 補助率 1/2以内(上限2,000千円)</li> </ul> <p>(2) 暮らしサポート施設開業事業・・・生活の支援及び充実に資する施設開設事業への補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修補助 補助率 2/3以内(上限1,000千円)</li> <li>備品購入補助 補助率 2/3以内(上限200千円)</li> <li>家賃補助 補助率 1/2以内(上限30千円/月)</li> </ul>								
関連事業 (同一目的事業等)	福知山市空き家・空き店舗等ストックバンク事業								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	1,817	1,147	1,000
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	1,817	1,147	1,000
	B 人件費	千円	0	1,040	1,200	1,234
	総事業費(A+B)	千円	0	2,857	2,347	2,234
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	1,530
	府支出金	千円	0	908	593	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	0	1,949	1,754	704

# 計画事業評価表

計画事業		000735 空き店舗活用チャレンジ事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		広報ふくちやま掲載回数	目標	回	1	1	1	
			実績		0	0	0	
			単位コスト					
		目標						
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		出店件数	目標	件	2	2	2	
			実績		3	2	1	
			単位コスト					
		目標						
実績								
単位コスト								

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		商業の活性化、中心市街地の活性化のため、空き店舗対策事業やまちなか居住の促進は、住民コミュニティの確保の上でも、その必要性は高い。また、「中心市街地活性化基本計画」においても「人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち」の目																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		空き家・空き店舗等ストックバンク事業との連携により、まちなかでの空き家・空き店舗を減らすことに繋がるものであり、地域コミュニティの確保の上でも有効な施策である																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		初期投資、開業初期の費用に対する支援を行い、起ち上がりを支援することで、自立経営の軌道に乗せることとしている。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>皆減</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	廃止	○	×	×	×	皆減	○	×	×	×	コスト投入の方向性						D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 平成28年度より、中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業に統合して事業を継続する。				
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×			×																																
	縮小		×		×	×																																
	廃止		○	×	×	×																																
	皆減	○	×	×	×																																	
コスト投入の方向性																																						



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000736	丹波福知山まちかどラボ運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成11年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
310205	丹波福知山まちかどラボ運営事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: )							
補助金			( 補助先: 福知山まちづくり株式会社 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			丹波福知山まちかどラボを中心市街地における情報発信拠点及び市民活動の拠点として、人が集い、市民活動やグループ交流を促し、誰もが気楽に立ち寄れるまちなかサロンとして常設する。							
対象 (誰・何を対象に)			市民、来街者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>広小路通りの旧レストランナカ跡にコミュニティプラザ(まちなかサロン)を常設し、中心市街地における情報発信拠点及び市民活動の拠点として運営・展開を図る。 また、平成21年9月からは、京都府中丹パートナーシップセンターとしての機能も備わり、地域活動の拠点施設としての機能の充実を図っている。</p> <p>【H27活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレイフラワー教室(12回開催、参加延べ人数47人)</li> <li>・広小路マルシェ(4回、参加延べ人数850人)</li> <li>・寄せ植え講習会(1回、参加延べ人数15人)</li> <li>・書道教室(6回、参加延べ人数35人)</li> <li>・若人チャレンジ事業などの実施など</li> <li>・ホームページ情報発信事業</li> </ul>							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0		
小計	千円	1,000	1,000	1,000	1,000		
B	人件費	千円	400	400	600	1,234	
総事業費(A+B)		千円	1,400	1,400	1,600	2,234	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	500	
	府支出金	千円	500	500	500	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	900	900	1,100	1,734		

# 計画事業評価表

計画事業		000736 丹波福知山まちかどラボ運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	施設開館日数	目標	日/年	250	250	250	250
		実績			252	233	240
		単位コスト	円		3.968	4.292	4.167
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人/年	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績			1,660	1,011	1,642
		単位コスト					
まちかどラボ利用人数	目標	人/年	3,000	3,000	3,000	3,000	
	実績			1,660	1,011	1,642	
	単位コスト						
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		中心市街地における情報発信拠点及び市民活動の拠点として、人が集い、市民活動やグループ交流を促すことができるとともに、誰もが気軽に立ち寄れるまちなかサロンとして常設することは、市民生活の向上とまちなかの魅力アップ、中心市街地の活性化を図ることができる。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		広小路通りの旧レストランタナカ跡にコミュニティプラザ(まちなかサロン)を中心市街地における情報発信拠点及び市民活動の拠点として常設することにより、市民が交流できる空間の創出はもとより、福知山に訪れる方々への情報発信を図ることができる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費のスリム化が図られてきているが、賃料や光熱水費などの固定経費が大半を占めていることから、大幅なコスト削減は難しい。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 広小路のリニューアル事業ともあいまって、中心市街地における情報発信拠点及び市民活動の拠点として、今後も積極的な事業運営を図っていくものである。 平成27年度には龍谷大学のゼミ活動に使用された実績もあり、今後、より多くの集客ができる施設となるよう福知山公立大学のまちなかラボとしての利用を検討していく。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000737	まちづくり会社活動支援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成20年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し（非公開）			
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
310219	まちづくり会社活動支援事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: )							
補助金			( 補助先: 福知山まちづくり株式会社 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			中心市街地活性化法に基づく法定構成員となる福知山まちづくり株式会社としての運営体制を支援することにより、中心市街地活性化基本計画に基づくプロジェクトを機能的に着実に実行する。							
対象 (誰・何を対象に)			福知山まちづくり株式会社							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業を積極的に推進していくため、福知山まちづくり株式会社にタウンマネージャーと担当事務職員の配置について支援を行い、中心市街地活性化事業の活動について助成し、中心市街地の活性化に向けた実質的な活動を具体的に行っていく。</p> <p>【H27事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化協議会全体会・定例会のコーディネート、会議資料作成</li> <li>・中心市街地活性化4プロジェクトのコーディネート、資料作成</li> <li>・ゆらのガーデンのオープン、出店者協議会アドバイザー</li> <li>・広小路リニューアル事業の推進</li> <li>・街なみ環境整備事業・協定運営委員会等の各種事業の調整</li> </ul>							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	5,994	5,803	5,676	5,840
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	5,994	5,803	5,676	5,840
B	人件費	千円	400	400	700	1,028
	総事業費(A+B)	千円	6,394	6,203	6,376	6,868
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	2,920
	府支出金	千円	2,997	3,481	2,838	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	3,397	2,722	3,538	3,948

# 計画事業評価表

計画事業		000737	まちづくり会社活動支援事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	中心市街地活性化協議会定例会	目標	回	11	11	11	11
		実績			10	10	8
		単位コスト			580.300	567.600	730.000
	広小路リニューアル部会	目標	回	12	12	12	12
		実績			10	10	10
		単位コスト			580.300	567.600	584.000
	ゆらのガーデン出店者協議会	目標	回	12	6	6	12
		実績			5	5	9
		単位コスト			1160.600	1135.200	648.889
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
歩行者・自転車通行量H32年4200人	目標	人/日	4200	4200	4200	4200	
	実績			3871	3422	3614	
歴史文化交流施設利用者数	目標	人/年	390000	78000	78000	78000	
	実績			85637	82286	77933	
新規店舗開業数H32年度末10店舗	目標	店舗	2	2	2	2	
	実績			2	1	2	

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山市中心市街地活性化基本計画を推進するため、タウンマネージャー等を配置し、中心市街地活性化を指導及び支援する体制を整え、コーディネート機能を強化して事業の推進を図る必要があり、重要性の高い事業である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市中心市街地活性化基本計画を推進するため、5年間と限られた期間での事業実施が求められる中で、タウンマネージャー等を配置することでコーディネート機能を強化し、事業の推進を図ることができる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		福知山まちづくり株式会社にタウンマネージャー等を配置することで、各種事業をコーディネートしていくことにより、民間ならではのスピード感と豊富な活性化事業の経験による即時対応が可能となり、事業の推進の強化と省力化を図ることができる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 福知山まちづくり株式会社にタウンマネージャー等を配置することは、テナントミックス事業をはじめとした中心市街地活性化基本計画の各種事業をスムーズに展開して行く上で極めて重要であり、会社の自立面の強化を促しつつ、事業規模全体の拡大や体制強化に伴う支援措置が必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000738	中心市街地テナントミックス推進事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
310203	中心市街地テナントミックス推進事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: )							
補助金			( 補助先: 福知山まちづくり株式会社 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			平成23年3月25日認定の中心市街地エリア内において、空き家・空き店舗等の積極的な有効活用を推進し、商店街の活性化と中心市街地の賑わいの創出を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			福知山まちづくり株式会社・民間事業者等							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>中心市街地活性化基本計画に基づき、福知山まちづくり(株)等が国の補助金の採択を得て、空き家や空き店舗等を活用したテナントミックス事業を行う場合、その初期投資を軽減するための支援を行う。</p> <p>【H27】：本事業利用実績なし  【H25・H26】：本事業利用実績なし。但し、総務省所管：地域経済循環創造事業にて2店舗実施  【H24】：広小路商店街において、飲食店3店舗・物販店1店舗を改修。H25,4月オープン  【補助率】：全体事業費の1/9の額、上限3,300千円(10万円止め)</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	3,300	0	0	0
	小計	千円	3,300	0	0	0
B	人件費	千円	400	0	2,100	925
総事業費(A+B)		千円	3,700	0	2,100	925
財源内訳	国支出金	千円	1,650	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
一般財源		千円	2,050	0	2,100	925

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000738 中心市街地テナントミックス推進事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		テナントミックス事業の募集	目標	件	1	1	1	1
			実績			0	0	0
			単位コスト	円				
			目標					
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
			出店数	目標	1	1	1	1
				実績		0	1	1
			目標					
			実績					
単位コスト								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		空き家・空き店舗等の積極的な有効活用を推進するためには、テナントミックス事業による空き家・空き店舗等の有効活用を図る必要があり、重要性の高い事業である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		空き家・空き店舗等を有効活用することで、商店街への集客数の増加につながるとともに、賑わいの創出に有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		空き家・空き店舗を活用することでその数を減らすことができるとともに、新規店舗を開店することで商店街への集客数の増加につながる。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 空き家・空き店舗を活用し新規店舗として開店することで、中心市街地内に人が集まるようになり、中心市街地エリア内の居住人口の増加に繋がっていく。			
成果の方向性	拡充 ×    ×    ×    ×				
	維持 ×    ×    ×    ×				
	縮小 ×    ×    ×    ×				
	休廃止    ×    ×    ×				
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000739	福知山鉄道館ポップランド運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成10年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
310209	福知山鉄道館ポップランド運営事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者： 福知山鉄道館ポップランド運営委員会 )							
補助金			( 補助先： 福知山鉄道館ポップランド運営委員会 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			新町商店街事業協同組合から引継ぎ、福知山鉄道館ポップランド運営委員会(西日本鉄道OB会福知山支部が主な構成員)が行う福知山鉄道館ポップランドの運営をはじめとする各種事業に対して支援することにより、「鉄道のまち」福知山を広くPRし、市内外からの来街者の誘導を促し、中心市街地活性化を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			中心市街地商工業者、市民、観光客							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山鉄道館ポップランド及びポップランド2号館の運営並びにポップランドが行う企画イベントの実施、PRのための他イベントへの参加事業に対して補助金を交付する。また、当館内の旧福知山駅周辺のパノラマ模型(鉄道Nゲージ併設)の管理・監視、軽微な修繕、オートレール(パソコンソフトによる自動運転装置)の設定・調整業務を委託している。							
関連事業 (同一目的事業等)			鉄道ワンダーランド(ミニSLフェスタ)							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	2,000	2,000	1,999	1,746
		委託料	千円	710	710	710	710
		需用費	千円	91	215	387	0
		報償費	千円	100	50	50	0
		使用料及び賃借料	千円	0	14	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	2,901	2,989	3,146	2,456	
	B	人件費	千円	2,400	3,120	1,500	1,645
	総事業費(A+B)	千円	5,301	6,109	4,646	4,101	
財源内訳	国支出金	千円	1,450	0	0	1,228	
	府支出金	千円	0	1,355	1,546	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	3,851	4,754	3,100	2,873	

# 計画事業評価表

計画事業		000739 福知山鉄道館ポップランド運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	イベント開催数	目標	回	2	2	2	2
		実績			2	2	2
		単位コスト		円		1494.500	1573.000
	イベント参加数	目標	回		3	2	1
		実績				4	3
		単位コスト				786.500	818.667
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	入館者数	目標	人	12,000	12,000	12,000	12,000
		実績			16,657	13,498	9,803
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		鉄道のまち福知山を発信する特徴ある中心市街地としての魅力を創出し、まちなかの活性化に寄与するためにも必要性が高い。また、福知山市観光振興ビジョン(平成20年3月策定)においても、「鉄道のまち福知山」のPRは推進計画に位置付けられており、観光の面からも重要である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		入館者は減少傾向にあり、商店街及び中心市街の活性化を図る上で、その有効性が低くなりつつある。施設としての魅力を高めるためにも、展示物の見直しや運営方法の見直し等を考える必要がある。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		観光施設としての機能のみならず、中心市街地活性化に係る事業展開を図る上で商店街と密接に連携できるため、その効率性は高い。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 「鉄道のまち 福知山」をPRし、中心市街地の回遊性を高めるための拠点施設であるが、近年は集客力が伸び悩んでおり、展示品や内装のリニューアルを行うことによって、新しい客層獲得やリピーターを増やすことが課題となっている。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000740	中心市街地活性化基本計画推進事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度			担当部名	農林商工部				
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課				
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	継続事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)				
根拠法令											
	構成予算事業			会計		款		項		目	
310212	中心市街地活性化基本計画推進事業			01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02 商工業振興費	
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理		( 委託先又は指定管理者: )								
	補助金		( 補助先: 福知山まちづくり株式会社 )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		中心市街地活性化基本計画に掲載された市の所管の事務事業を商工会議所等の関係団体並びに市民グループ等と連携を図りながら、着実に実行していくため、事業の企画・運営等を業務委託により実施する。									
対象 (誰・何を対象に)		福知山まちづくり株式会社									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>中心市街地活性化基本計画に掲載された、市所管の事業を効果的に着実に進めていくために、中心市街地のまちづくりの主体である福知山まちづくり株式会社に業務を委託し実施する。</p> <p>【事業】・若人チャレンジ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街なみ環境整備事業の総合相談窓口及び啓発、事業推進</li> <li>・福知山城憩いの広場「ゆらのガーデン」のガーデニングサークル事務局業務</li> <li>・まちなか居住推進事業の啓発、事業推進</li> <li>・テナントミックス推進事業の総合相談窓口及び啓発、事業推進</li> <li>・空き家・空き店舗等ストックバンク事業の啓発、事業推進</li> <li>・フォローアップに係る基礎調査補助</li> <li>・イベント等の調整・広報等に関する業務</li> </ul>									
関連事業 (同一目的事業等)											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	4,560	4,525	3,653	4,482
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	4,560	4,525	3,653	4,482
	B 人件費	千円	560	560	700	720
	総事業費(A+B)	千円	5,120	5,085	4,353	5,202
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	2,241
	府支出金	千円	2,280	2,291	2,279	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	2,840	2,794	2,074	2,961

# 計画事業評価表

計画事業		000740	中心市街地活性化基本計画推進事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	街なみ環境整備事業協定運営委員会の開催	目標	回	3	3	5	5
		実績			1	2	7
		単位コスト		円		4525.000	1826.500
	ガーデニングサークル活動	目標	回	20	20	19	19
		実績			20	23	21
		単位コスト			226.250	158.826	213.429
	若人チャレンジ事業	目標	日	2	2	2	
		実績			2	2	
		単位コスト			2262.500	1826.500	
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
街なみ環境整備事業協定運営委員会の審査件	目標	件	3	5	10	25	
	実績			2	4	26	
	ガーデン来場者数(レジカウント×2.5)	目標	人		240,000	240,000	240,000
		実績			182,885	33,608	168,000
		目標					
		実績					

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		中心市街地活性化基本計画に掲載された市の所管の事業を商工会議所等の関係団体並びに市民グループ等と連携を図りながら、着実に実行していくため、重要性の高い事業である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市中心市街地活性化基本計画を推進するため、5年間と限られた期間での事業実施が求められる中で、福知山まちづくり株式会社に担当事務職員を配置することは、事業の企画・運営等を具体的に推進していくことが出来るので有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		福知山まちづくり株式会社に業務委託することは、事業の企画・運営等を民間ならではのスピード感と豊富な活性化事業の経験による即時対応が可能となり、事業の推進の強化と省力化を図ることができる。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					
		中心市街地活性化基本計画に記載された市所管事業を効果的に着実に進めていくために、中心市街地のまちづくりの主体である福知山まちづくり株式会社に業務委託を継続するとともに、会社の自立面の強化を促しつつ、事業規模全体の拡大や体制強化に伴う支援措置の強化・充実をしていく必要がある。			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000741	商店街等振興事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成19年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	42	商工業の振興			担当課	商工振興課				
基本方針	01	商業を活性化する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
310136	商店街等振興事業（地方創生先行型）		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
310107	商店街等振興事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）							
実施方法			補助金（補助先：市内の商店街組織及び商業者グループ等）							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			商店街は古くから「まちの顔」として重要な役割を果たしてきたが、経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や来街者の減少により賑わいが失われ、街全体の活力の低下に大きく影響している。地域商業全体を底上げするための取り組みが求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街等の更なる活性化及び地域の活性化を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市内の商店街組織及び商業者グループ等							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			(1)イベント事業補助金 商店街等のイメージアップを図り、その活性化を促進するため、福知山市商店街等イベント事業補助金交付要領に基づき、商店街や商業者グループが行うイベント事業に対して補助金を交付する。1回の事業につき20万円を限度に補助。(補助率1/2以内) (2)頑張る女性等応援事業補助金 地域の女性グループ等が企画・立案し、商工団体が連携して実施する活性化事業に対して、1回の事業につき10万円を限度に補助。(補助率6/10以内)							
関連事業 (同一目的事業等)			なし							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	1,660	1,228	1,762	1,493
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,660	1,228	1,762	1,493	
	B	人件費	千円	1,440	1,200	1,700	1,748
総事業費(A+B)		千円	3,100	2,428	3,462	3,241	
財源内訳	国支出金	千円	830	1,028	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源		千円	2,270	1,400	3,462	3,241	

# 計画事業評価表

計画事業		000741	商店街等振興事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	商店街組織等の会員数	目標	人			380	460
		実績				347	357
		単位コスト		円			5.078
	イベント実施団体数	目標	団体	9	9	9	8
		実績			6	10	9
		単位コスト			204.667	176.200	165.889
	イベント実施団体数(女性グループ実施)	目標	団体	1	3		
		実績			1		
		単位コスト			1228.000		
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
イベント事業数	目標	件	10	10	10	10	
	実績			11	16	13	
	イベント事業数(女性グループ実施)	目標	件	1	3		
		実績			1		
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		商業を活性化するのみならず、街全体の活性化につながる事業であり、その必要性は高い。また、平成23年3月に認定された「福知山市中心市街地活性化基本計画」においても「人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち」を達成するための事業となっている。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		商店街の活力、結束、イメージの維持向上と街全体の活力の向上に有効である。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		単独の商店街だけでなく、複数の団体の連携によるより効率的で効果の高いイベント等にも取り組まれている。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 市内に賑わいを創出するとともに、活気ある商店街及び女性の姿を示すことができた。引き続き、商店街や頑張る女性グループの活動を支援することで、市内に賑わいを創出し、活気あるまちを創造する。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000930	ふくちやま復興プレミアム商品券発行事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	農林商工部		
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課		
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	新規事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	ふくちやま復興プレミアム商品券発行要領								
構成予算事業			会計		款		項		目
310135	ふくちやま復興プレミアム商品券発行事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業 直接実施 業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: 福知山商工会議所 他5件 ) 補助金 ( 補助先: )							
	事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	連年にわたり被災を受けた市民や事業所等の速やかな復興を推し進めるため、『ふくちやま復興プレミアム商品券』を発行することで地域における消費の喚起や住民生活の支援を行うとともに、地域経済の復興とさらなる活性化を図る。							
	対象 (誰・何を対象に)	加盟店: 市内事業所 商品券販売: 市内外問わず							
	事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	実施主体: 福知山市 受託者: 福知山商工会議所・福知山市商工会・福知山観光協会 福知山まちづくり(株)・京都北都信用金庫・(株)京都銀行 商品券名称: 「ふくちやま復興プレミアム商品券」 販売総数・総額: 52,000セット「1セット1,000円券・12枚」 流通総額: 624,000千円 プレミアム率: 20% 販売開始日: 平成27年4月16日 有効期限: 販売開始日～平成27年8月31日							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	0	109,834	6,000	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	109,834	6,000	0
	B 人件費	千円	0	2,560	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	112,394	6,000	0
財源内訳	国支出金	千円	0	87,225	0	0
	府支出金	千円	0	28,609	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	0	-3,440	6,000	0

# 計画事業評価表

計画事業		000930 ふくちやま復興プレミアム商品券発行事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	加盟店数	目標	店舗		300	-	
		実績			396	-	
		単位コスト			277.359		
	販売セット数	目標	セット		52,000		
		実績			52,000		
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
商品券利用金額	目標	円		624,000,000			
	実績			622,837,000			
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																							
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		連年にわたり被災を受けた市民や事業所等の速やかな復興を推し進めるため、『ふくちやま復興プレミアム商品券』を発行することで地域における消費の喚起や住民生活の支援を行うとともに、地域経済の復興とさらなる活性化を図る必要がある。																							
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		総額624,000千円が市内で流通することで、消費喚起に繋がり、また1セットあたり20%のプレミアムをつけることで、住民生活の支援を推し進める。																							
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地域振興券の販売や事業運営の経験がある福知山商工会議所へ商品券発券事業を委託するほか、販売窓口については、福知山市商工会の他5か所へ委託することで、効率的に事業運営が行える。																							
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																							
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 業務実施期間の終了																							
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×				
	拡充	×																							
	維持	×			×																				
縮小	×		×	×																					
休廃止	○	×	×	×																					
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性																									

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000931	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク人材育成事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度	担当部名	農林商工部					
基本理念	42	商工業の振興		担当課	商工振興課					
基本方針	01	商業を活性化する		新規継続区分	新規事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
320223	中心市街地ストックバンク人材育成事業		01	一般会計	05	労働費	01	労働諸費	02	緊急雇用特別対策費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者： 福知山まちづくり株式会社 )							
補助金			( 補助先： )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			中心市街地にて増加する空家・空店舗等の流通及び活用が課題となるなか、空家等の情報を集中して収集し、利用希望者に対して収集した情報を提供できる人材の育成を図る。							
対 象 (誰・何を対象に)			福知山まちづくり株式会社							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を集約し、利用希望者に提供する人材の雇用及び育成							
関連事業 (同一目的事業等)			中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業							

コスト	A	委託料	千円	平成28年度	0	平成27年度	3,530	平成26年度	41	平成25年度	0
		報酬	千円	0	0	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	0	0		
		賃金	千円	0	0	0	0	0	0		
		報償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
		小計	千円	0	3,530	41	0	0			
	B	人件費	千円	0	1,040	100	0	0			
		総事業費(A+B)	千円	0	4,570	141	0	0			
財源内訳		国支出金	千円	0	0	41	0	0			
		府支出金	千円	0	2,393	0	0				
		国・府支出金 コメント									
		地方債	千円	0	0	0	0	0			
		その他特財	千円	0	0	0	0	0			
		地方債・その他特財 コメント									
		一般財源	千円	0	2,177	100	0	0			

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000931 中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク人材育成事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		失業中の求職者の正規雇用化	目標	人		1	1	
			実績			1	1	
			単位コスト			3530.000	41.000	
		目標						
		実績						
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		空き店舗等の登録物件数	目標	件		6		
			実績			12		
			目標					
		実績						
目標								
実績								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		未利用の住宅や空き地等の登録を専門とする人材を育成することは、住宅や空き地等の流通を促進し中心市街地における人口増加と商業の活性化を図る上でも必要性は高い。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		中心市街地にて増加する空家・空店舗等の流通及び活用が課題となるなか、空家等の情報を集中して収集し、利用希望者に対して収集した情報を提供できる人材の育成を図る点で有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		中心市街地活性化計画の事業推進役である福知山まちづくり株式会社に業務委託することは、民間ならではの即時対応が可能となり事業を推進する上でも効率的である。  緊急雇用特別対策事業のため、国の補助100%である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 福知山まちづくり(株)にストックバンクの運営業務の一部を委託し、空き家や空き店舗の情報収集及び申請の補助、空き家巡りツアーやDIY講習などのイベントの実施、ブログの開設による情報を発信などが行える人材を育成することが出来た。 当事業は緊急雇用特別対策事業で実施されており27年度で終了となる。今後は28年度の中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業において継続実施する。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
休廃止	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000942	災害復旧融資特別支援事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	42	商工業の振興			担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	災害復旧融資特別支援事業要領								
構成予算事業			会計	款	項	目			
310119	災害復旧融資特別支援事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )							
		補助金 ( 補助先: 対象の融資を借り入れた中小企業者 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	平成25年台風18号または平成26年8月16日、17日の豪雨による被災により災害復旧のための融資を受けた市内の中小企業者に対し、事業再建のために資金繰りの円滑化及び経営の安定化を図る。								
対象 (誰・何を対象に)	平成25年台風18号または平成26年8月16日、17日の豪雨により被災された市内の中小企業者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	京都府の融資制度「平成26年8月豪雨緊急融資」や日本政策金融公庫の融資制度「災害復旧貸付」、また市内各金融機関の災害復旧のために創設された融資を利用する中小企業者に対し、融資実行後から12回目までの支払利息を全額助成、13回目から60回目までの支払利息の2分の1を補給する。また、京都信用保証協会の保証を受けられた場合には、信用保証料の2分の1を補給する。								
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	10,317	24,116	3,226	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	10,317	24,116	3,226	0
B	人件費	千円	2,000	2,000	500	0
	総事業費(A+B)	千円	12,317	26,116	3,726	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	12,317	26,116	3,726	0

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000942 災害復旧融資特別支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	申込件数	目標	件		20	150	70
		実績			14	163	17
		単位コスト			1722.571	19.791	0.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	円				
		実績					
		単位コスト					
成果実績	利子補給金額	目標	円	10,033,538	21,901,328	2,706,000	
		実績			24,115,419	3,215,807	
	交付件数	目標	件	184	191		
		実績			184		
		目標					
		実績					

事項		担当課評価				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		平成25年台風18号または平成26年8月16日、17日の豪雨により被災した中小企業者については、経営再建に向けて長期的に支援する必要がある。				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		長期的な利子補給を実施することで、資金繰りの安定化を図り早期の経営再建を促すことが期待できる。				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		申し込みについては、金融機関を窓口としていることや、京都府制度融資の利用者については、京都信用保証協会から随時融資実績のデータ提供があることから、管理が効率的に行うことができる。				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 災害用融資を受けてから5年間利子の補給を行うが償還回数の13回目以降は、利子の半額を継続して補給していくこととなっている。平成28年度は、台風18号災害融資、平成26年8月豪雨ともに1年間の利子の半額を補給することとなっている。				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x				x
	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
皆減 <b>縮小</b> 維持 拡大 コスト投入の方向性						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001033	福知山パーキング修繕工事								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	01	商業を活性化する				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
310247	福知山パーキング修繕事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			駐車場の鉄骨部が錆びて剥離しているため、順次塗装修繕を行い施設の適正な管理運営を図ります。							
対象 (誰・何を対象に)										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			工事請負費 2,500千円 つなぎ目塗装修繕 31箇所×3F(3年～5年計画) 28年度は出入口ゲートの更新を行う。							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	工事請負費	千円	0	2,700	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	980	0	0	0
	小計	千円	980	2,700	0	0
B	人件費	千円	160	160	0	0
	総事業費(A+B)	千円	1,140	2,860	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,140	2,860	0	0

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001033 福知山パーキング修繕工事					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	塗装面積	目標	m <sup>2</sup>	326			
		実績		326			
	目標						
		実績					
	目標						
		実績					

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		老朽化を防ぐために必要な修繕である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		塗装修繕することで施設の老朽化を防ぐことが出来る。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>					
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) ・塗装修繕することで施設の老朽化を防ぐことが出来た。 しかし、今回は施設の一部のみとなったことから、継続的(3ヵ年～5ヵ年)な修繕が必要となる。 ・28年度は出入口ゲートの更新を行う。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000711	販路開拓支援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し（非公開）			
根拠法令	福知山市販路開拓支援事業補助金交付要綱									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310108	販路開拓支援事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
310134	販路開拓支援事業（地方創生先行型）		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			（委託先又は指定管理者：）							
補助金			（補助先：市外での展示会等に出展する市内企業者）							
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）			市内の中小企業者等が、自社商品及びサービスの販路開拓のため、市外での展示会や見本市等に出展するには会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても出展しにくい状況等があるため、展示会等参加に係る経費の一部を補助し、市内中小企業者等の販路開拓を支援し、産業の振興を図る。							
対象 （誰・何を対象に）			福知山市内に本社又は主たる事業所を有する中小企業者等							
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）			市内の中小企業者等が自社の技術や製品・サービス等の販路拡大のために市外で開催される展示会・見本市等への出展や商談会に係る経費の1/2を上限10万円まで助成する。また平成25年台風18号、平成26年8月16日・17日豪雨により被災された事業者の方については、上限15万円、補助率4分の3に引き上げる。							
関連事業 （同一目的事業等）										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	1,700	818	820	876
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,700	818	820	876
B	人件費	千円	1,200	400	1,000	1,028
	総事業費(A+B)	千円	2,900	1,218	1,820	1,904
財源内訳	国支出金	千円	850	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	2,050	1,218	1,820	1,904

# 計画事業評価表

計画事業		000711 販路開拓支援事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	PR回数	目標	回	6	6	4	4
			実績		6	4	4	
			単位コスト				205.000	219.000
			目標					
			実績					
			単位コスト					
			目標					
			実績					
			単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	成果実績	利用件数	目標	件	20	20	20	20
実績			11		12	13		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市外市場への創造や開拓等に係る必要経費を支援することにより、市内中小企業の振興を図る必要がある。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		新商品や新技術の開発・展示会等への出展を奨励し、企業の技術・商品等のPR・受注促進を図ることから、市外における販路拡大にも繋げる。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		見本市や展示会などに出展した際の費用の一部を支援し、市外への積極的な販路開拓の意欲を持つ市内企業に対し、効率的な補助を行っている。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x			○	維持	x			x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 平成25年台風18号、平成26年8月16日・17日の被災事業所への補助率・上限の引き上げについては平成27年度限定とし、平成28年度からは、首都圏や海外等出展する場所に応じて補助率を引き上げる。 市外への販路開拓をめざす市内中小企業を支援すべく、引き続き積極的な広報活動を行う。			
成果の方向性	拡充		x			○																																
	維持		x			x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000712	福知山産業フェア事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成16年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山産業フェア事業補助金交付要領									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310110	福知山産業フェア事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
実施方法		補助金 (補助先: 福知山産業フェア実行委員会)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館周辺で本格的な物産展を開催し、出展企業・団体の取引機会の拡大を促進するとともに、情報交換、異業種間交流などを通じて産業育成と地域活性化を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		福知山産業フェア実行委員会、商工関連業者及び団体								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館周辺で開催される本格的な物産展である「福知山産業フェア」は、企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われる。この大規模物産展の開催に対して補助金を支出するもの。</p> <p>【参考】平成27年度福知山産業フェア実施概要</p> <p>(1)実施日 : 平成27年10月24日(土)・25日(日)</p> <p>(2)会場 : 三段池公園体育館及び周辺</p> <p>(3)出店数 : 119事業所、171ブース</p> <p>(4)来場者数: 約70,000人</p> <p>(5)主催 : 福知山産業フェア実行委員会(主管: 福知山商工会議所)</p> <p>【H27事業内容】 補助金 3,800,000円</p>								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	0	3,800	3,800	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	3,800	3,800	0	
	B	人件費	千円	0	400	500	308
	総事業費(A+B)	千円	0	4,200	4,300	308	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	0	4,200	4,300	308	

# 計画事業評価表

計画事業		000712 福知山産業フェア事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	出展企業・団体数	目標	団体		150		150	
		実績			119		127	0
		単位コスト		円		31.933		29.921
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標名	目標	人		70,000		70,000	70,000
		実績			70,000		72,000	0
		単位コスト						
	成果実績	目標						
		実績						
単位コスト								

事項	担当課評価																																
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	既存産業の活性化に向けた異業種交流機会の創出は第4次総合計画にも位置付けられており、本市の産業振興にとって必要性は高い。																																
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	福知山市のみならず京都府北部地域にも本事業のような大規模物産展はなく、北部地域への経済波及効果も大きく、異業種交流機会の創出による商工業者の人材育成が図られる点からも有効である。																																
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	本事業は、実行委員会形式であるが、その主管となっている福知山商工会議所は、市内では最多の商工業者を会員に持ち、多くの商工業関連団体との連携も強く、より多くの出展が期待できるため、効率的である。																																
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>皆減</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コスト投入の方向性</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×	皆減	○	×	×	×	コスト投入の方向性		縮小	維持	拡大		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 平成28年度は会場の改修工事に伴い使用できないため実施なし。
成果の方向性		拡充	×																														
		維持	×			×																											
		縮小	×		×	×																											
		休廃止	○	×	×	×																											
	皆減	○	×	×	×																												
コスト投入の方向性		縮小	維持	拡大																													



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000713	中小企業サポートセンター事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(公開)			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
310112	中小企業サポートセンター事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
		補助金 (補助先: 福知山市中小企業等支援機関連絡会議)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		地域経済の中で大きな役割を占める中小企業等の技術力、人材力、販売力等「企業力」の向上、地域経済の活性化を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		市内の中小企業者等								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		産学官連携組織「パワーオンネット」を運営し、会員企業に対して支援を行った。また元気な会社を紹介する冊子の製作、北近畿の関係団体・企業への有益情報のメール配信及び説明会の開催等の中小企業支援を行った。 平成27年度実績 3,114,001円 賃金 1,281,192円 旅費 247,360円 通信費 201,769円 事務機器借上料 103,680円 負担金補助及び交付金 1,280,000円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	賃金	千円	1,215	1,281	1,050	0
	負担金補助及び交付金	千円	1,266	1,280	1,415	1,000
	旅費	千円	299	247	131	0
	役務費	千円	143	202	177	165
	使用料及び賃借料	千円	0	104	104	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	1,520
	小計	千円	2,923	3,114	2,877	2,685
B	人件費	千円	5,125	5,125	6,675	4,175
	総事業費(A+B)	千円	8,048	8,239	9,552	6,860
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,048	8,239	9,552	6,860

# 計画事業評価表

計画事業		000713	中小企業サポートセンター事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名 施策（経済産業省予算等） 説明会	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
			目標	回	3	2	2	2
			実績			5	2	3
		単位コスト			622.800	1438.500	895.000	
		目標						
		実績						
		単位コスト						
		目標						
		実績						
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名 施策（経済産業省予算等） 説明会参加者 総数	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
			目標	人	150	120	120	110
実績					241	100	120	
目標								
実績								
単位コスト								

事項		担当課評価			
担当課評価	<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>	産学官連携組織「パワーオンネット」において、福知山市中小企業サポートセンターが会員企業と支援機関とのハブになり、マッチングや共同研究・開発を促して新技術や新製品の創出を図る。また、元気な企業をホームページ等により広くPRして受発注等につなげることを図る。			
	<b>事業の有効性</b> <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>	パワーオンネット会員企業の様々な課題の解決、また企業同士のマッチングにより新製品の開発を図ることにより、経営能力の増強を実現させ、将来的に雇用人員の増加を図る			
	<b>事業の効率性</b> <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>	パワーオンネット支援機関との連携が強化されて、最新情報を企業・団体に提供することができており、パワーオンネット会員企業間のマッチングによる製品開発及び販路開拓等の支援を行った。			
	<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 （今後の事業の方向性、課題等）</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 本市中小企業の課題解決やイノベーションの創出には、北近畿の広域な連携が必要であり、また産学連携を強化していくことも必要となるため、元気な企業をより元気にして、地元経済全体の底上げの起爆剤となるような支援が必要とされている。そのキープレイヤーとなる自覚を持つ企業の育成を行う必要がある。			
成果の方向性	拡充 ×    ×    ×    ×    ○				
	維持 ×    ×    ×    ×    ×				
縮小 ×    ×    ×    ×    ×					
	休廃止    ×    ×    ×    ×				
皆減 縮小 維持 拡充					
コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000715	小規模企業融資制度事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成19年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市小規模企業融資制度取扱要領ほか									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310118	小規模企業融資制度事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 対象の融資を借り入れた小規模企業者 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			市内の小規模企業者に対し、低利で安定した資金調達を可能にし、資金繰りの円滑化及び経営の安定化、産業の育成と振興を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市内の小規模企業者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>マル福融資 京都府の融資制度である「小規模企業おうえん融資」を利用する小規模企業者に対し、融資実行後から6回分の支払利息を全額助成する。また融資期間終了までの融資利率の内0.5%を低減することで、融資額1,250万円までのベース枠の融資利率を0.7%（通常1.2%）、ベース枠を超える融資額2,500万円までのステップアップ枠の融資利率を1.2%（通常1.7%）で借入可能となる。</p> <p>マル経融資 日本政策金融公庫が実施する経営改善貸付「マル経融資」を利用する中小企業者に対し、融資実行後から6回分の支払利息を全額助成する。</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	14,540	12,268	12,466	124,117
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	14,540	12,268	12,466	124,117
		B	人件費	千円	1,600	1,600	2,000
総事業費(A+B)	千円	16,140	13,868	14,466	125,865		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	16,140	13,868	14,466	125,865		

# 計画事業評価表

計画事業		000715 小規模企業融資制度事業					
活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	利子補給額	目標	円	12,267,308	15,796,000	16,302,000	17,948,396
		実績			12,267,308	12,465,999	12,411,947
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	年度末貸付実績	目標	円	397,400,000	380,600,000	363,800,000	348,600,000
		実績			827,630,000	472,360,000	591,497,000
	年度末貸付件数	目標	件	144	130	120	111
		実績			144	123	113
		目標					
		実績					

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		低利で安定した資金調達ができ、資金繰りの円滑化、経営の安定化が図られる。また広く利用されている府の制度融資がベースとなっており、本制度も拡充している。今後も経済情勢と小規模事業者の実態に即した制度運用が必要である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		府の制度融資を更に低利で利用することができ、手厚い支援となっている。金融機関等の経営指導を受けると10年での借入が可能で、資金繰り円滑化が図られる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		例月、融資実績等の各データが保証協会と金融機関の双方から提出され、実績管理が容易である。申し込みは融資手続きの際に金融機関で行われ、効率よく進めることができる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 6回分の利子を補給することは、小規模企業者の経営安全に役立っており、申込み件数も昨年度に比べ増加している。今後も継続して支援していくことが必要である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

<b>計画事業</b>	000716	企業交流促進事業								
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成9年度			<b>担当部名</b>	農林商工部			
<b>基本理念</b>	42	商工業の振興				<b>担当課</b>	商工振興課			
<b>基本方針</b>	02	既存産業を活性化する				<b>新規継続区分</b>	継続事業			
<b>施策の大綱</b>						<b>実施計画区分</b>	実施計画事業			
<b>施策</b>						<b>自由区分3</b>	棚卸し未実施			
<b>根拠法令</b>	企業交流促進補助金交付要領									
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>	
320104	企業交流促進事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
<b>実施方法</b>		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
<b>実施方法</b>		直接実施								
<b>実施方法</b>		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )								
<b>実施方法</b>		補助金 ( 補助先: 福知山企業交流会 )								
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)		長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業の結びつき及び交流の促進、企業間の交流、情報交換、受発注の醸成等を目的として実施される福知山企業交流会の活動を支援し、市内企業同士の受発注の活発化等を図ることにより企業活動の活性化、地域の発展につなげる。								
<b>対象</b> (誰・何を対象に)		福知山企業交流会(長田野工業団地立地企業、工業団地以外の市内企業)								
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山企業交流会の活動に補助金を交付し、研修会や受発注懇談会等を通して企業間交流を図る。  平成25年度補助金 724,000円 平成26年度補助金 674,000円 平成27年度補助金 674,000円								
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)										

<b>コスト</b>		<b>単位</b>	<b>平成28年度</b>	<b>平成27年度</b>	<b>平成26年度</b>	<b>平成25年度</b>
	A	負担金補助及び交付金	千円 674	674	674	724
		報酬	千円 0	0	0	0
		給料	千円 0	0	0	0
		職員手当等	千円 0	0	0	0
		共済費	千円 0	0	0	0
		災害補償費	千円 0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円 0	0	0	0
		賃金	千円 0	0	0	0
		報償費	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0	
	<b>小計</b>	千円 674	674	674	724	
B	人件費	千円 240	400	500	308	
	<b>総事業費(A+B)</b>	千円 914	1,074	1,174	1,032	
<b>財源内訳</b>		<b>国支出金</b>	千円 0	0	0	0
		<b>府支出金</b>	千円 0	0	0	0
		国・府支出金コメント				
		<b>地方債</b>	千円 0	0	0	0
		<b>その他特財</b>	千円 0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	<b>一般財源</b>	千円 914	1,074	1,174	1,032	

# 計画事業評価表

計画事業		000716 企業交流促進事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	受発注懇談会及び研修会の参加者数	目標	人	104	104	104	104
			実績			107	104	103
			単位コスト			6.299	6.481	7.029
		受発注懇談会及び研修会の開催	目標	回	2	1	1	1
			実績			2	1	1
			単位コスト			337.000	674.000	724.000
		目標						
		実績						
		単位コスト						
成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	受注率（市内発注/総発注）	目標	%	20	20	20	20	
		実績			20	25	22	
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		市内の企業が工業団地に立地する企業との積極的な交流を図り、地域内における経済の連関性を高める。			
<b>事業の有効性</b> <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		長田野工業団地立地企業を含む101社が加入し、会員企業の受発注懇談会や各種研修会の開催など市内企業の連携促進、活性化のため活発な取組みが行われている。			
<b>事業の効率性</b> <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		会員企業の会費及び市の補助金により事業が実施されている。福知山商工会議所、長田野工業センター、市が連携して活動をサポートしている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価</b> （今後の事業の方向性、課題等）			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 長田野工業団地立地企業及び工業団地外企業双方の受発注の拡大に向けた意欲、努力が重要である。また、役員企業の中からは事務局である福知山商工会議所並びに長田野工業センターを中心に、新たな取組の展開が望まれ、受発注の拡大につながる効果的な事業の実施が期待される。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000717	工業生産機械奨励事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	工業生産機械導入奨励金交付要綱									
構成予算事業			会計		款		項		目	
320105	工業生産機械奨励事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
実施方法		補助金 (補助先: 対象となる工業用生産機械を購入した事業者 )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市内製造業者の設備投資意欲を増進させるとともに、企業育成を支援し、地域経済の活性化を促す。								
対象 (誰・何を対象に)		市内の工場において新たに取得または更新された工業用生産機械の取得者 (長田野工業団地、アネックス三和の立地企業を除く)								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		市内の工場において新たに取得または更新された工業用生産機械の取得者に対し、補助金を交付する。 対象：課税物件評価額25万円以上の(償却)資産取得者で市税完納者 交付額：評価額の1.5%以内  平成27年度補助金 8事業所 48件 合計 6,959,989円								
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		A	負担金補助及び交付金	千円	2,100	6,960	2,739	1,796
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			災害補償費	千円	0	0	0	0
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
			賃金	千円	0	0	0	0
			報償費	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			小計	千円	2,100	6,960	2,739	1,796
			B	人件費	千円	400	800	200
	総事業費(A+B)	千円	2,500	7,760	2,939	2,001		
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	0	0	0	0	
		国・府支出金 コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント							
	一般財源	千円	2,500	7,760	2,939	2,001		

# 計画事業評価表

計画事業		000717 工業生産機械奨励事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	PR回数	目標	回	4	4	4	3
		実績			3	4	4
		単位コスト	円		2320.000	684.750	449.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	交付事業所数	目標	8	5	5	5	
		実績		8	9	5	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本事業は、製造業を対象（長田野工業団地、アネックス三和を除く）にした唯一の補助事業であり、高額な工業用生産機械を導入し、新たな製品づくりや生産の拡大を試みる事業所の支援になっている。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		固定資産税相当額の交付となるため、即効性に乏しいが、事業所の設備投資意欲の増進につながっている。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		対象となる工業用生産機械については、一年目の固定資産税を免除するというシンプルな制度にすることも考えられる。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価</b> （今後の事業の方向性、課題等）			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 対象事業所は、製造業に限るが、機械を導入した際の固定資産税相当額の交付を行い、生産の拡大や新製品づくりを行う事業所の支援を図っていく。また、交付対象機械の課税標準額や耐用年数に関して、定めている上限の額や年数の見直しを時代やニーズに合わせて行う必要がある。			
成果の方向性	拡充 ×    ×    ×    × 維持 ×    ×    ×    × 縮小 ×    ×    ×    × 休廃止    ×    ×    ×				
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000743	商工会議所商工業振興対策事業補助								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310104	商工会議所商工業振興対策支援事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 福知山商工会議所 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			福知山商工会議所が実施する商工業振興策や専門員による経営相談・助言、地域振興に関する各種事業が着実に推進できる体制を確保することによって、本市商工業の振興及び育成を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			福知山商工会議所(市内商工業者)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山商工会議所が実施する商工業振興及び地域振興に関わる次の各種事業を支援するため、補助金を交付するもの。 1 地域経済を担う事業者の育成を行う地域ビジネスサポートセンター事業 2 中心市街地活性化を推進する事業 3 小規模事業者に対して経営改善の普及等を行う小規模企業指導事業 4 長田野工業団地立地企業と市内既存企業の交流機会の提供や各種研修を行う工業生産支援事業							
関連事業 (同一目的事業等)			商工会商工業振興対策事業補助							

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		A	負担金補助及び交付金	千円	7,290	7,290	7,290	7,290
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			災害補償費	千円	0	0	0	0
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
			賃金	千円	0	0	0	0
			報償費	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			小計	千円	7,290	7,290	7,290	7,290
			B	人件費	千円	240	240	500
	総事業費(A+B)	千円	7,530	7,530	7,790	7,907		
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	0	0	0	0	
		国・府支出金コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント							
	一般財源	千円	7,530	7,530	7,790	7,907		

# 計画事業評価表

計画事業		000743 商工会議所商工業振興対策事業補助						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		経営改善普及事業 個別指導相談 及び講習会	目標	件	60	60	60	60
			実績			82	52	77
			単位コスト		円	88.902	140.192	94.675
		目標						
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		経営改善普及事業 経営支援員の 相談件数	目標	件	1,800	1,800	1,800	1,800
			実績			1,841	1,404	1,247
			目標					
		実績						
目標								
実績								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山商工会議所は約1,100の事業所が加入しており、市内中小企業を支える重要な経済団体である。本市の地域経済の維持・発展に向けて、市内商工業者の健全な経営の確立や商工業の振興を図る観点から、欠かすことのできない事業である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山商工会議所は、市内商工業者を取り巻く経営環境の変化に敏感かつ柔軟に対応し、本市の商工業振興や地域振興において重要な役割を果たしている。また、経営指導等、中小企業の振興・育成を図る上で、福知山商工会議所と連携した取組みが非常に有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		京都府とともに支援することにより、円滑な運営が可能となっている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 福知山商工会議所が行う事業を側面から支援することにより、地域の商工業の健全な発展を図られている。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000744	商工会商工業振興対策事業補助								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成20年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	商工振興課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310105	商工会商工業振興対策支援事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
実施方法		補助金 (補助先: 福知山市商工会 )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		福知山市商工会が実施する商工業振興施策や専門員による経営相談・助言、地域振興に関する各種事業が着実に推進できる体制を確保することによって、本市商工業の振興・育成を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		福知山市商工会(市内商工業者)								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>福知山市商工会が実施する商工業振興及び地域振興に関わる次の各種事業に対する支援するため補助金を交付するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 商工業振興と経営指導対策(経営支援員による個々の相談及び巡回指導の強化、部会活動等組織の強化充実、商工会議所との連携事業の推進等)</li> <li>2 税務対策(適正な納税指導と納税知識の習得及び高揚)</li> <li>3 金融対策(府制度融資、市制度融資、日本政策金融公庫融資及び各種制度融資の斡旋)</li> <li>4 福利厚生対策(小規模企業共済等各種共済制度の加入促進、会員研修実施)</li> <li>5 その他経営改善普及事業の実施</li> </ol>								
関連事業 (同一目的事業等)		商工会議所商工業振興対策事業補助								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	7,200	7,200	7,200	7,200
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	7,200	7,200	7,200	7,200
	人件費	千円	240	240	500	617
	総事業費(A+B)	千円	7,440	7,440	7,700	7,817
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	7,440	7,440	7,700	7,817

# 計画事業評価表

計画事業		000744 商工会商工業振興対策事業補助					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	巡回指導件数	目標	件	2000	2000	2000	2000
		実績			3099	3294	2267
		単位コスト	円		2.323	2.186	3.176
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	件	3200	3200	3200	3200
		実績			3970	4225	3179
		単位コスト					
経営指導員の相談及び指導件数	目標	件	3200	3200	3200	3200	
	実績			3970	4225	3179	
	単位コスト						
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本市の地域経済の維持、発展に向けて、旧三町地域の商工業者の健全な経営の確立や、商工業の振興を図る必要がある。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市商工会は、旧三町地域内の商工業振興や地域振興に重要な役割を果たしている。また、経営指導等、中小企業の振興、育成を図る上で、福知山市商工会と連携した取組みは非常に有効である。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		京都府とともに支援することにより、円滑な運営が可能となっている。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 福知山市商工会が行う事業を側面から支援することにより、地域の商工業の健全な発展を図られている。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000745 地域産業活性化補助事業								
評価基準年度		平成27年度	事業開始年度		平成21年度	担当部名		農林商工部		
基本理念		42	商工業の振興			担当課		商工振興課		
基本方針		02	既存産業を活性化する			新規継続区分		継続事業		
施策の大綱						実施計画区分		実施計画事業		
施策						自由区分3		棚卸し未実施		
根拠法令		なし								
構成予算事業			会計		款		項		目	
310121	地域産業活性化補助事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理		( 委託先又は指定管理者 : )							
	補助金		( 補助先 : 福知山市商工会 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		平成20年度に合併した福知山市商工会は、三カ所の飛び地をエリアとする事業展開を行っており、地域商工業者に対するサービスの質を落とさずに運営する必要がある。合併後の商工会をしっかりと地域に根付かせ、地域の中小企業支援と活性化の核としての活動に対して支援をするとともに、それぞれの地域の特色を活かした地域振興を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		旧三町商工業者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山市商工会が行う商工業振興対策指導事業(講演会及び講習会等の開催により、農商工連携やIT活用の知識等、会員の専門的な知識の習得を図り、経営改善や新たな連携の体制構築を目指していく事業)、金融指導事業及び記帳指導対策事業(各種制度の円滑な利用を促進するための情報発信やネットde会計を活用して経理関係の効率化を図り経営改善を目指すための事業)、地域総合振興事業(旧三町における新たな活動の展開を図る事業)に対して補助金を交付するもの。								
関連事業 (同一目的事業等)		商工会商工業振興対策支援事業								
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度				
		負担金補助及び交付金	千円	1,200	1,200	1,800	1,800			
		報酬	千円	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		A 災害補償費	千円	0	0	0	0			
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0			
		賃金	千円	0	0	0	0			
		報償費	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0				
	小計	千円	1,200	1,200	1,800	1,800				
	B 人件費	千円	240	240	500	514				
	総事業費(A+B)	千円	1,440	1,440	2,300	2,314				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金 コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	0	0	0	0				
地方債・その他特財 コメント										
一般財源	千円	1,440	1,440	2,300	2,314					

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000745 地域産業活性化補助事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	講習会・講演会の開催	目標	回	20	20	20	20
		実績			22	22	18
		単位コスト		円		54.545	81.818
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
講習会・講演会の参加人数	目標	人	400	400	400	400	
	実績			368	368	358	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		産業構造が大きく変化する中、地域の活力の維持、向上に努める必要があり、商工業や観光業等への支援及び既存産業の維持は本市まちづくりの基本方針である。地域経済の安定、維持と新事業展開を支援する必要がある。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		合併後の商工会の活動を根付かせ、地域及び地域中小企業の振興のための活動の推進が図られている。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		コスト低減と効率の良い事業展開を目的とした合併を補完する事業である。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 3ヶ所の飛び地かつ広域エリアという条件不利地の中で、今後とも地域商工業者へのサービスの質を落とさずに運営していく必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000722	起業おうえん事業								
評価基準年度		平成27年度	事業開始年度		平成23年度	担当部名		農林商工部			
基本理念		42	商工業の振興			担当課		商工振興課			
基本方針		04	起業支援を推進する			新規継続区分		継続事業			
施策の大綱						実施計画区分		実施計画事業			
施策						自由区分3		H28棚卸し(非公開)			
根拠法令		起業おうえん助成金交付要領 他									
構成予算事業			会計		款		項		目		
310240	起業おうえん助成金交付金事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費		
320226	起業おうえん事業(地方創生先行型)	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費		
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理		(委託先又は指定管理者: )								
	補助金		(補助先: 市内での起業予定者及び起業後1年以内の者)								
	事務事業の意図		(どのような状態にしたいか)								
	市内の事業所数が減少傾向にある中、市内で新たに事業を営む者に対し助成制度を実施することで、創業時の経費負担を軽減するとともに、創業時のノウハウ取得のためのセミナー等の開催により、創業しやすい環境を整え、起業及び雇用を促進することで産業の活性化を図る。										
	対象		新規起業者及び起業して間もない者								
	(誰・何を対象に)										
	事業内容		<p>1 起業家支援事業補助金 市内で新たに起業する者に対し、広告宣伝費等の経費の一部を補助する。(補助率1/2 上限500千円) 実績 5件 1,159,000円</p> <p>2 起業相談会 専門家による起業の個別相談会を2回実施。 第1回平成27年9月30日 参加者1名 第2回平成28年2月3日 参加者2名</p> <p>3 創業セミナー 専門家等による創業セミナーを2回実施。 第1回平成27年10月9日 参加者26名 第2回平成28年2月13日 参加者6名</p> <p>4 起業おうえん助成金 創業関連融資利用者に対し、6か月分の利子を全額補給する。 実績 10件 727,594円</p>								
	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)										
	関連事業										
	(同一目的事業等)										
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
		負担金補助及び交付金	千円	5,470	1,886	135	205				
		役務費	千円	249	267	22	0				
		委託料	千円	216	162	100	144				
		需用費	千円	146	76	12	0				
		報償費	千円	32	52	0	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0					
	小計	千円	6,113	2,443	269	349					
	B	人件費	千円	3,360	2,400	1,000	1,028				
	総事業費(A+B)	千円	9,473	4,843	1,269	1,377					
財源内訳	国支出金	千円	3,056	2,374	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	2,859	0	270	349					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	3,558	2,469	999	1,028						

## 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000722 起業おうえん事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	PR回数	目標	回	6	6	5	3
		実績		6	5	9	
		単位コスト				53.800	38.778
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	件	15	10	5	5
		実績		10	5	4	
単位コスト							
セミナー参加者数	目標	人	50	20	20	10	
	実績		32	24	7		
	単位コスト						
補助金交付件数	目標	件	10	5			
	実績		5				
	単位コスト						

事項		担当課評価				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		創業時の経費は創業者にとっては負担が大きく支援する必要がある。また創業のノウハウ取得は必要不可欠であり、セミナー等による支援が必要である。				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		起業初期段階での支援を行うことで、経営の安定化と事業の継続につながる。				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		金融機関を窓口にした事務手続きを行っており、実績管理が容易である。申込は融資手続きの際に金融機関で行われ、効率よく進めることができる。 またセミナーについても、事業経験のある福知山市商工会等へ委託することで、効率的に開催することができる。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)				
成果の方向性	拡充	x				平成28年度は福知山市創業支援事業計画の2年目となり、計画に基づいた効率的・実践的な支援が必要である。 起業家支援事業補助金については、平成28年度より店舗改修費等も対象とする。また、創業希望者に対し創業支援内容の周知を徹底する。
	維持	x			x	
	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
		皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						



# 計画事業評価表

<b>計画事業</b>	000992 城下町福知山・まち歩き観光促進モデル事業										
<b>評価基準年度</b>	平成27年度		<b>事業開始年度</b>		平成27年度		<b>担当部名</b>		農林商工部		
<b>基本理念</b>	43 観光の振興						<b>担当課</b>		商工振興課		
<b>基本方針</b>	01 地域資源を活性化する						<b>新規継続区分</b>		新規事業		
<b>施策の大綱</b>							<b>実施計画区分</b>		実施計画事業		
<b>施策</b>							<b>自由区分3</b>		棚卸し未実施		
<b>根拠法令</b>	福知山市補助金交付要綱										
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>		
310251	城下町福知山・まち歩き（地方創生先行型）		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
310226	城下町福知山・まち歩き観光促進モデル事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
<b>実施方法</b>			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
<b>実施方法</b>			直接実施								
<b>実施方法</b>			業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）								
<b>実施方法</b>			補助金（補助先：福知山まちづくり株式会社）								
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)			JR福知山駅や福知山城には、その隣接地に来街者のための無料駐車場があるが、まちなか観光ルートの拠点でもある広小路界隈周辺には無料の駐車場がなく、ゆっくりまち歩き観光や買い物等を楽しむことができないため、既存の御霊公園福知山パークングの駐車料金1時間を無料化することで、まちなかへの来街の動機付けと滞在時間の延長を促し、まちなかの回遊性の強化と賑わいの創出を図る。								
<b>対象</b> (誰・何を対象に)			市民								
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山まちづくり株式会社が運営する御霊公園福知山パークングの駐車料金の1時間分を無料化								
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)											

		<b>単位</b>	<b>平成28年度</b>	<b>平成27年度</b>	<b>平成26年度</b>	<b>平成25年度</b>	
<b>コスト</b>	A	負担金補助及び交付金	千円	6,435	6,414	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	6,435	6,414	0	0	
	B	人件費	千円	400	400	0	0
	総事業費(A+B)	千円	6,835	6,814	0	0	
<b>財源内訳</b>	国支出金	千円	3,217	5,926	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	3,618	888	0	0	

# 計画事業評価表

計画事業		000992 城下町福知山・まち歩き観光促進モデル事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	パーキング利用台数	目標	台	42900	39500		
		実績			42760		
		単位コスト			0.150		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	広小路通り歩行者・自転車通行量	目標	850	900			
		実績		834			
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		現在、広小路界隈には、ゆっくりとまち歩き観光や食事・買い物等が出来る無料の駐車場がない。また、新たにまちなかに無料駐車場をすることはできないことから、既存の御霊公園福知山パーキングの駐車料金を1時間無料にすることで、広小路界隈への観光客や買い物客の誘客を図るとともに賑わいの創出を図ることができる。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		御霊公園福知山パーキングの利用台数が前5年間の平均年間利用台数の1.248倍となり駐車料金を1時間無料とした効果は一定あった。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		御霊公園福知山パーキングにおいて駐車料金の1時間を無料とすることは、新たに無料駐車場をすることは出来ないことから有効である。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 継続して事業を実施することで広小路界隈への観光客や買い物客の誘客を図るとともにまちなかの活性化につなげるものである。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000718	東京都ジョブパーク事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成19年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	44	雇用の確保				担当課	商工振興課			
基本方針	01	就業支援を充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
320206	東京都ジョブパーク事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
320224	東京都ジョブパーク事業(地方創生先行型)	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		京都府と協調し、府北部に在住する若年者等求職者の就業支援を行うことで雇用の促進を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		求職者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>東京都ジョブパーク内へのLAN構築により、市と東京都ジョブパークとの業務連携を円滑にし、また求職中の市民向けにパソコン講座を開催して就業を支援。</p> <p>平成27年度実績</p> <p>LAN構築業務 637,200円</p> <p>パソコン講座 393,660円</p> <p>(人権ふれあいセンター3館において、計15回実施)</p>								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	376	1,031	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	1,083	1,089
	小計	千円	376	1,031	1,083	1,089
B	人件費	千円	5,440	5,600	8,500	8,742
	総事業費(A+B)	千円	5,816	6,631	9,583	9,831
財源内訳	国支出金	千円	188	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	5,628	6,631	9,583	9,831

## 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000718 東京都ジョブパーク事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	求職者への就業支援セミナーの開催	目標	170	150	198	24
		実績		167	122	23
		単位コスト		6.174	8.877	47.348
	ジョブパーク延来所者数(福知山市の若年者)	目標	2000	1800	1800	1800
		実績		1924	1604	1588
		単位コスト		0.536	0.675	0.686
ジョブパーク延利用者数(来所者+セミナー)	目標	3200	2700	2700	2700	
	実績		3148	2148	2036	
	単位コスト		0.328	0.504	0.535	
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	就業者数(若年者正規雇用)【内定者数】	目標	100	50	57	52
		実績		92	92	82
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	次代の地域を担う若年者等をはじめ地域の雇用の確保、安定は大きな課題である。若者の人口流出を防ぐためにも、地元での就業に向けた支援が求められている。求人、求職への支援は、国・府・市等関係機関が連携を図り、事業を進める必要がある。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	ジョブパーク延来所者数と延利用者数は、それぞれ達成率が107%と117%で、目標を上回る成果を収めており、福知山市の若者の定着に効果を発揮している。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	府と市の役割分担と連携、負担の下に事業を進めている。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>	B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 就職困難者の就労促進、次代の地域を担う若年層の定着、地元の人材確保に向けて、府と連携して取組み、成果を上げている。継続して取り組む必要がある。																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性					
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×	○		×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
	コスト投入の方向性																																	

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000719	ふるさと就職おうえん事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	44	雇用の確保				担当課	商工振興課			
基本方針	01	就業支援を充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
	構成予算事業			会計		款		項		目
320207	ふるさと就職おうえん事業			01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02 商工業振興費
320227	ふるさと就職おうえん事業(地方創生加速)			01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02 商工業振興費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業 直接実施 業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: ) 補助金 (補助先: 福知山雇用連絡会議 )								
	事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげる。								
	対象 (誰・何を対象に)	就職支援を要する市民(地元の高校生並びに若者)、市内一般企業								
	事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	平成27年度実績 分担金 2,190,000円 ・企業見学会 高校生をはじめとする若者を対象とする市内企業の見学会を開催する。 平成28年3月23日(水)4コース(各コースとも2社で、計8社) 参加者数 49人 ・就職フェスタ 大学生・一般求職者を対象に市内企業の見学会を開催する。 平成27年8月11日(火)参加企業:91社 参加者数:152人 ・合同就職フェア 大学生・一般を対象に市内企業の見学会を開催する。 平成27年11月1日(日)参加企業:60社 参加者数:121人 ・企業ガイド発行 近畿圏大学・短大に配布。就職フェスタ等開催時に配布。印刷部数:カラー冊子2,000部								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	3,106	2,190	1,884	1,684
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	3,106	2,190	1,884	1,684
	B 人件費	千円	4,400	4,400	2,200	1,234
	総事業費(A+B)	千円	7,506	6,590	4,084	2,918
財源内訳	国支出金	千円	2,011	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	833	0	1,163	1,160
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	4,662	6,590	2,921	1,758

# 計画事業評価表

計画事業		000719	ふるさと就職おうえん事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	面接会参加企業数	目標	社	130	100	100	100
		実績			151	122	113
		単位コスト			14.503	15.443	14.903
	面接会参加者数	目標	人	300	300	350	400
		実績			273	244	318
		単位コスト			8.022	7.721	5.296
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	就職決定者数	目標	人	40	40	40	40
		実績			43	41	50
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市内の在学生や市内在住の高校生、若者を対象に、地元企業を知る見学会を開催し、若者の地元定着を図る必要がある。 福知山市における雇用の促進、安定化等を図るため、市内の関係機関が福知山雇用連絡会議を組織し、緊密に連携し、求職者やU・Iターン就職希望を対象とした就職面接会の開催や企業ガイドの発行等各種の取組みを推進する。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市雇用連絡会議に参画する各機関による個々の事業と本会議を母体とした情報交換、事業の実施により効果的な取組となっている。 福知山地域の雇用促進に効果的な事業を実施している。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		福知山雇用連絡会議に参画する各機関の役割分担により各事業を実施しており、また事務局も福知山市、福知山公共職業安定所、福知山商工会議所、北京都ジョブパークの4機関で分担し効率的に行っている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 福知山雇用連絡会議では、企業ガイドの発行・合同就職面接会の開催という2つの大きな事業のほかに、社会のニーズに応じた新たな事業を検討し、実施してきた。 今後も基本的な事業については継続実施しつつ、高校生インターンシップ事業や企業見学バスツアー等により地元企業の魅力・地元就職の良いところをアピールする等、地元就職者の増加を図る施策を展開していく。新たに発生する就業に係る課題等についても、その解決に向けた事業を随時実施していく必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			○
	維持	x			x
縮小	縮小	x	x		x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

# 計画事業評価表

<b>計画事業</b>		000927 建設業若年者若年者等入職促進・人材育成事業						
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成26年度		<b>担当部名</b>	農林商工部		
<b>基本理念</b>	44 雇用の確保				<b>担当課</b>	商工振興課		
<b>基本方針</b>	01 就業支援を充実する				<b>新規継続区分</b>	新規事業		
<b>施策の大綱</b>					<b>実施計画区分</b>	実施計画事業		
<b>施策</b>					<b>自由区分3</b>	棚卸し未実施		
<b>根拠法令</b>								
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>	<b>款</b>	<b>項</b>	<b>目</b>		
320218	建設業若年者等入職促進・人材育成事業	01	一般会計	05	労働費	01	労働諸費	02 緊急雇用特別対策費
<b>実施方法</b>		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業		
		直接実施						
		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: 岸下建設(株)、(株)佐竹工務店 )						
		補助金 ( 補助先: )						
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)	福知山市内の建設業の人材が不足する中、人材を雇用することにより、人材不足を解消するとともに、建設業における若年者の就職促進・人材育成を図る。							
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	市内建設・建築業者							
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	建設業・建築業の市内事業所が若年者を雇用し、集合訓練や企業実習を実施することにより、人材育成を図り正規雇用へつなげる。雇用された若年者の人件費や研修費について委託契約により事業所へ支払う。契約については、福知山建設業協会、福知山建築工業組合より推薦のあった事業所に対して委託契約を行う。							
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
<b>コスト</b>	委託料	千円	0	6,029	2,825	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	6,029	2,825	0
	B 人件費	千円	0	400	500	0
	総事業費(A+B)	千円	0	6,429	3,325	0
<b>財源内訳</b>	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	6,029	2,825	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	0	400	500	0

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		建設業若年者若年者等入職促進・人材育成事業				
活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動実績	雇用人数	目標		2	2	
		実績	人	2	1	
		単位コスト				2825.000
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
成果実績	契約終了後、継続した雇用人数	目標		2	2	
		実績	人	2	1	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		建設業・建築業における人材が不足している中で、若年者の人材確保、さらには人材育成が必要である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		社内の実践業務だけでなく、社外での研修を受けることで、より有効的な人材育成が行える。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市内建設業で雇い入れることで、より効率的な指導や実践を期待できる。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 平成27年度をもって事業終了			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×		×	×
	休廃止	○	×	×	×
	皆減	○	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000928	求職者向けパソコン講座実施事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	44	雇用の確保		担当課	商工振興課				
基本方針	01	就業支援を充実する		新規継続区分	新規事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
320219	求職者向けパソコン講座実施事業	01	一般会計	05	労働費	01	労働諸費	02	緊急雇用特別対策費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 株式会社アイシーエル)							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		就職に有利なパソコン技能・知識を習得するための講座を開設し、失業者の就業支援及び就職決定者の確保を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		市内求職者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		1回あたり定員6名のパソコン講座を計4回開催し、ワード・エクセルの基本操作から業務に役立つ応用操作まで短期集中型で行い、参加者のパソコン技能・知識のスキルアップを図る。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	0	1,620	788	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	1,620	788	0	
	B	人件費	千円	0	800	500	0
	総事業費(A+B)	千円	0	2,420	1,288	0	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	1,346	788	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	0	1,074	500	0	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000928 求職者向けパソコン講座実施事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	セミナー参加者数	目標	人		24	24		
		実績			24	22		
		単位コスト			67.500	35.818		
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		セミナー参加後の就業者数	目標	人		24	24	
			実績			12	14	
			目標					
			実績					
		目標						
	実績							

事項		担当課評価				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		仕事をする上で、パソコン操作は必要不可欠であり、求職者にとってはパソコン技能や知識を習得することが必要である。				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		就職に有利なパソコン技能や知識を習得するためのセミナーを開設することで、失業者の就業支援及び就職決定者の確保を図ることができる。				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		パソコンセミナー等を業務としている事業所へ委託することで、より効果的なセミナーを開設できる。また本事業参加者は東京都ジョブパークの登録を必須条件とすることで、東京都ジョブパークと連携して、就業支援が行える。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 平成27年度をもって事業終了				
成果の方向性	拡充	×				
	維持	×				×
	縮小	×		×		×
	休廃止	○	×	×		×
	皆減		縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000723	試行雇用おうえん助成金交付事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	農林商工部		
基本理念	44	雇用の確保				担当課	商工振興課		
基本方針	02	働きやすい環境づくりを促進する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	試行雇用おうえん助成金交付要領								
構成予算事業			会計	款	項	目			
320213	試行雇用おうえん助成金交付事業	01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )							
実施方法		補助金 ( 補助先: トライアル雇用奨励金の給付を受けた事業所 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		就職・再就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用(原則3か月間)する国の試行雇用制度を市が推進することにより、就職困難者の雇用機会の増加と企業の人材確保の推進を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		国の「トライアル雇用奨励金」の給付を受けた事業所							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>国の「トライアル雇用奨励金制度」の給付を受けた事業所に対して、交付奨励金の1/2を限度として福知山市が上乗せ助成する。 (国の助成額は一人につき月額4万円・支給上限3か月分まで)</p> <p>平成27年度助成金 75人(結果: 常用雇用59人、離職13人、その他2人) 合計4,165,000円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	4,420	4,165	3,535	2,590
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	4	3
	小計	千円	4,420	4,165	3,539	2,593
B	人件費	千円	1,600	1,600	1,500	1,028
	総事業費(A+B)	千円	6,020	5,765	5,039	3,621
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	3,539	2,593
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	6,020	5,765	1,500	1,028

# 計画事業評価表

計画事業		000723 試行雇用おうえん助成金交付事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		トライアル雇用の支援を受けた人(累計)	目標	人	436	342	294	234
			実績			356	281	251
	単位コスト		円		11.699	12.594	10.331	
		目標						
		実績						
		単位コスト						
		目標						
		実績						
		単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
	正式に採用された人数(累計)	目標	人	364	271	228	178	
		実績			304	229	180	
		目標						
		実績						
		目標						
実績								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		就職困難者に雇用促進を図る必要性は高い。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		就職困難者の常用雇用化につながっている。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国の事業への上乗せなので、事務の効率性が高い。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)</b> 35歳未満、60歳以上の求職者には、それぞれ国、京都府からの支援があるが35歳以上59歳以下の求職者向けには支援が手厚く行われていない。そこで35歳以上59歳以下に限り、国から支給される額と同額(月額最高40,000円)を支給することで35歳以上59歳以下の雇用促進の強化を図る。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡充 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000724	中小企業勤労者福祉共済事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部				
基本理念	44	雇用の確保				担当課	商工振興課				
基本方針	02	働きやすい環境づくりを促進する				新規継続区分	継続事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	福知山市地区勤労者福祉共済会事業補助金交付要領										
	構成予算事業			会計		款		項		目	
320401	中小企業勤労者福祉共済事業			01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理		( 委託先又は指定管理者 : )								
	補助金		( 補助先 : 福知山地区勤労者福祉共済会 )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		中小企業勤労者の助け合い制度を支援し、勤労者福祉の充実を図る。									
対象 (誰・何を対象に)		福知山地区勤労者福祉共済会									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山地区勤労者福祉共済会が行う中小企業勤労者に対する共済事業に対して、補助金を交付する。 平成27年度補助金 160,000円									
関連事業 (同一目的事業等)											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	160	160	160	210
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	160	160	160	210
B	人件費	千円	160	160	200	205
	総事業費(A+B)	千円	320	320	360	415
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	320	320	360	415

# 計画事業評価表

計画事業		000724 中小企業勤労者福祉共済事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		共済加入者数	目標	人	社会保障の支援	社会保障の支援	社会保障の支援	社会保障の支援
			実績		支援の実施	支援の実施	支援の実施	
			単位コスト					
		活動実績	目標					
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		共済利用による中小企業者の社会保障支援	目標	人	1,153	1,142	1,157	1,138
			実績		1,153	1,142	1,157	
			単位コスト					
		成果実績	目標					
実績								
単位コスト								

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	中小企業勤労者の助け合い制度を支援し、勤労者福祉の充実を図る必要がある。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	福知山地区勤労者福祉共済会が実施する中小企業勤労者に対する共済事業を推進するための補助金を交付することにより、勤労者福祉の充実が図られるとともに、雇用の安定ひいては産業の振興にも有効である。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	中小企業勤労者の助け合い制度に対して補助金を交付することにより、効率的に勤労者福祉の充実と本市の雇用の安定、産業の振興が図られる。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
事務事業の方向性の組み合わせ	A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 継続して中小企業勤労者の助け合い制度を支援し、勤労者福祉の充実を図る必要がある。																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000941 循環型雇用促進特別奨励金給付事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	44	雇用の確保				担当課	商工振興課			
基本方針	02	働きやすい環境づくりを促進する				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	循環型雇用促進特別奨励金交付要領									
構成予算事業			会計		款		項		目	
320217	循環型雇用促進特別奨励金給付事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )									
	補助金 (補助先: 国の「トライアル雇用奨励金」を受けた企業 )									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	就職・再就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用(原則3か月間)する国の試行雇用制度に基づき、特に中高年を試行的に雇用することを市が推進することにより、中高年者の雇用機会の増加と企業の人材確保の推進を図る。									
対象 (誰・何を対象に)	国の「トライアル雇用奨励金」の給付を受け、40歳以上60歳未満の対象者を正規雇用者として雇用した企業									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	国の「トライアル雇用奨励金制度」の給付を受け、40歳以上60歳未満の対象者を正規雇用者として雇用した企業に対して、18万円を奨励金として助成する。									
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
		A	負担金補助及び交付金	千円	1,800	900	360	0	
			報酬	千円	0	0	0	0	
			給料	千円	0	0	0	0	
			職員手当等	千円	0	0	0	0	
			共済費	千円	0	0	0	0	
			災害補償費	千円	0	0	0	0	
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	
			賃金	千円	0	0	0	0	
			報償費	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	4	0	
			小計	千円	1,800	900	364	0	
			B	人件費	千円	400	400	500	0
			総事業費(A+B)	千円	2,200	1,300	864	0	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0		
		府支出金	千円	0	0	0	0		
		国・府支出金 コメント							
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他特財	千円	0	0	364	0		
	地方債・その他特財 コメント								
	一般財源	千円	2,200	1,300	500	0			

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000941 循環型雇用促進特別奨励金給付事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	申請件数	目標	人	10	10	5	
		実績		5	5		
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	補助交付件数	目標	人	15	10	5	
実績		5		2			
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		知識や経験豊富な中高年者の雇用促進を図る必要性は高い。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		中高年者の正規雇用の促進につながっている。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市の試行雇用おうえん助成金の後に給付するものなので、事務の効率性は高い。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 今後とも中高年者の正規雇用促進のために制度を維持する必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000731	まちなみ環境整備事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備				担当課	商工振興課			
基本方針	02	良好な都市空間を形成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市街なみ環境整備事業補助金交付要綱 福知山市補助金交付									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310243	まちなみ環境整備事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 街づくり協定に基づく町並み環境整備促進区 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			城下町福知山のまちのシンボルである福知山城から京街道、新町、広小路界限、御霊神社など江戸時代の「まち割り」から明治・大正・昭和の佇まいを残す町並みや建造物が数多く残っている。これらの歴史的資産や文化を活用し、地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことで、美しく誇りある街並みを形成し、来街者や居住者の増加を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			街なみ環境整備促進区域の重点区域(京町、内記、広小路ほか)で、街づくり協定に基づく家屋等の外観改修を行う者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			外観修景整備に対する補助(間接補助) 国補助: 補助対象経費の1/3以内 市補助: 補助対象経費の1/3以内 補助金限度額は1件につき2,000千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	6,000	2,838	6,089	36,931
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	6,000	2,838	6,089	36,931
B	人件費	千円	1,440	2,320	1,700	4,525
	総事業費(A+B)	千円	7,440	5,158	7,789	41,456
財源内訳	国支出金	千円	3,000	1,419	3,044	18,465
	府支出金	千円	1,000	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	3,440	3,739	4,745	22,991

# 計画事業評価表

計画事業		000731 まちなみ環境整備事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	景観整備計画の推進	目標		PJ会議・地元説明会	PJ会議・地元説明会	PJ会議・地元説明会	PJ会議・地元説明会
		実績			PJ会議・地元説明会	PJ会議・地元説明会	PJ会議・地元説明会
		単位コスト	円				
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	修景工事の実施	目標	件	3	8	10	25
実績				2	5	25	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		城下町福知山のまちのシンボルである福知山城から京街道、新町、広小路界隈、御霊神社など江戸時代の「まち割り」から明治・大正・昭和の行まいを残す町並みや建造物が数多く残っている。これらの歴史的資産や文化を活用し、地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことで、美しく誇りある町並みを形成し、まちなか居住や観光を促進させる。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		歴史的資産や文化を活用し、地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことにより、有効的に調和のとれた街なみ環境の形成と維持・向上が図られる。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことにより、市民独自の投資も促されることで効率的な街なみの形成と維持・向上が図られる。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x				維持	x			x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことで、「城下町」や「町家」といった福知山らしい風情を残した、美しく誇りある町並みの形成を促進し、居住者や観光客の増加を図ることができ、中心市街地の活性化につながる。 課題 ・街なみ環境整備事業補助金の活用促進			
成果の方向性	拡充		x																																			
	維持		x			x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000732	まちなか居住応援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備				担当課	商工振興課			
基本方針	03	中心市街地を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	まちなか居住応援事業補助金交付要綱									
構成予算事業			会計		款		項		目	
310238	まちなか居住応援事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 市民 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			福知山市中心市街地活性化基本計画に基づき、市全体の平均の2.5倍以上の減少率となっている中心市街地エリアの居住人口を増加させ、まちなかコミュニティの維持と賑わいの回復を図るとともに、誰もが安心して暮らせるまちなか居住空間を創造する。							
対象 (誰・何を対象に)			市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			中心市街地において住宅を新築する場合、周辺部に比べて土地代が割高となる上に、建築コストの増加や、隣接住宅等への配慮など追加的な経費が必要となるため、中心市街地活性化基本計画区域(中心市街地エリア)外から中心市街地エリア内に居住用個人住宅を新築又は新築住宅を購入され、中心市街地エリア外から転入された場合に一律10万円を助成する。							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	600	500	500	400
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	600	500	500	400
B	人件費	千円	400	400	500	1,851
	総事業費(A+B)	千円	1,000	900	1,000	2,251
財源内訳	国支出金	千円	300	250	150	150
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	700	650	850	2,101

# 計画事業評価表

計画事業		000732 まちなか居住応援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	PR活動(広報・HP・チラシ配布)	目標		PR活動	PR活動	PR活動	PR活動
		実績		広報・HP・チラシ	広報・HP・チラシ	広報・HP・チラシ	広報・HP・チラシ
		単位コスト	千円				
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	補助制度利用件数	目標	件	6	6	6	10
実績				5	5	4	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市全体平均の2.5倍以上の減少率となっている中心市街地エリアの居住人口を増加させ、まちなかコミュニティの維持と賑わいの回復を図ることを目的にしており、誰もが安心して暮らせるまちなか居住空間を創造するため、また、中活基本計画に掲げる目標の達成のために必要である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本市の中心市街地は、市全体の平均を上回る人口減少率となっているが、その要因の一つとして防火地域等の制限により建設コスト等が割高となっていることがあげられており、一律10万円の助成を行うことにより、まちなかへの居住を促す。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		社会資本整備総合交付金の効果促進事業として、国庫補助を活用し事業展開を図っている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) まちなか居住を促進を図ることは、中心市街地活性化の究極の最終目標となるものであり、城下町福知山ならではの景観形成事業となる街なみ環境整備事業と同調して、「市民が誇りを持って暮らせるまちなか居住」を促進させるものである。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小		x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000725	福知山鉱山廃水処理場管理運営事業														
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成12年度			担当部名	農林商工部									
基本理念	64	低炭素・循環型社会の形成				担当課	商工振興課									
基本方針	06	公害対策を充実する				新規継続区分	継続事業									
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業									
施策						自由区分3	棚卸し未実施									
根拠法令																
構成予算事業			会計		款		項		目							
540601	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費						
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業									
直接実施																
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: 株式会社 富田公害ほか )													
補助金			( 補助先: )													
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			旧福知山鉱山の坑道より排出される強酸性 ( P H 3 ) で金属成分を含む排水の適正な処理を行い、河川に放流することで、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。													
対 象 (誰・何を対象に)			流域の市民と自然環境													
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>旧福知山鉱山の坑道より排出される強酸性 ( P H 3 ) で金属成分を含む排水を導水管により処理場まで流し、消石灰により中和し、有害な重金属を凝集剤により沈殿ろ過し、処理水を河川に放流する。沈殿した汚泥は、産業廃棄物として処分。(年間365日稼働)</p> <p>平成27年度実績</p> <table border="0"> <tr> <td>維持管理業務委託費</td> <td>10,692,000円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>8,207,460円</td> </tr> <tr> <td>事務費・材料費等経費</td> <td>4,783,982円</td> </tr> </table>								維持管理業務委託費	10,692,000円	修繕料	8,207,460円	事務費・材料費等経費	4,783,982円
維持管理業務委託費	10,692,000円															
修繕料	8,207,460円															
事務費・材料費等経費	4,783,982円															
関連事業 (同一目的事業等)																

事業計画額	コスト	A	委託料	千円	平成28年度	13,354	平成27年度	12,605	平成26年度	14,385	平成25年度	11,942
			需用費	千円	8,447	10,999	8,206	9,191				
			役務費	千円	130	65	64	63				
			使用料及び賃借料	千円	15	14	14	0				
			報酬	千円	0	0	0	0				
			給料	千円	0	0	0	0				
			職員手当等	千円	0	0	0	0				
			共済費	千円	0	0	0	0				
			災害補償費	千円	0	0	0	0				
			その他	千円	35	0	18	23				
小計	千円	21,981	23,683	22,687	21,219							
B	人件費	千円	2,400	2,800	5,300	2,571						
総事業費(A+B)	千円	24,381	26,483	27,987	23,790							
財源内訳	国支出金	千円	16,462	17,439	16,845	18,426						
	府支出金	千円	2,743	2,906	2,807	0						
	国・府支出金コメント											
	地方債	千円	0	0	0	0						
	その他特財	千円	0	0	0	0						
地方債・その他特財コメント												
一般財源	千円	5,176	6,138	8,335	5,364							

# 計画事業評価表

計画事業		000725 福知山鉱山廃水処理場管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	処理現場管理経費	目標	日	21,981,000	25,000,000	25,000,000	25,000,000
		実績			23,683,442	22,687,348	21,059,400
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	適正処理日数	日	365	365	365	365	
			実績		365	365	365
	処理水の環境基準の保持	目標	基準内	基準内	基準内	基準内	
		実績		基準内	基準内	基準内	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		処理場からの廃水を適正に処理し、河川に放流することで、市民生活の安全、良好な自然環境を確保する必要がある。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		処理設備については順次補修、更新工事を実施。中和殿物の処理については産業廃棄物として処分業者へ委託。坑廃水の中和処理を行うことにより排水基準値以下の水質レベルを確保。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		施設維持について国、府との調整協議を行い、国、府の補助及び市の財源により事業を実施。処理場の運転管理については長期継続契約によりコスト縮減。今後はさらに殿物処理等について検討。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x	○		x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			
		坑廃水処理を365日、止めることなく行う必要があり、処理設備の不良箇所については順次補修、更新工事を実施していく。また、中和処理で発生する澱物については産業廃棄物として適正に処分するよう処分業者に委託していく。年間維持管理計画に基づいた施設の維持管理を行いながら流域における安全な水質を保全する。国・府からの補助金が、今後縮減方向にあることから、修繕等については緊急性の高いものから優先に行い、維持管理等の業務委託については、業務内容を見直すことでコスト削減に努めていく。			